

保護者アンケート結果（坂下中学校）

少子化により子どもの数が減少する中、市では、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するため、通学区域の変更や学校の統合などにより、小中学校の適正な規模の確保に努めるように検討を進めています。

検討にあたり保護者の方を対象にアンケートを実施しましたので、集計結果をご報告します。



◆アンケート概要

実施期間	令和7年5月19日（月）から6月6日（金）まで
対象者	坂下中学校に通っている生徒の保護者
実施手法	学校から保護者への連絡システム 「Home&School」から回答
生徒数	354人
Home&School 通知数	366人
回答数	158人
回答率	43.2%

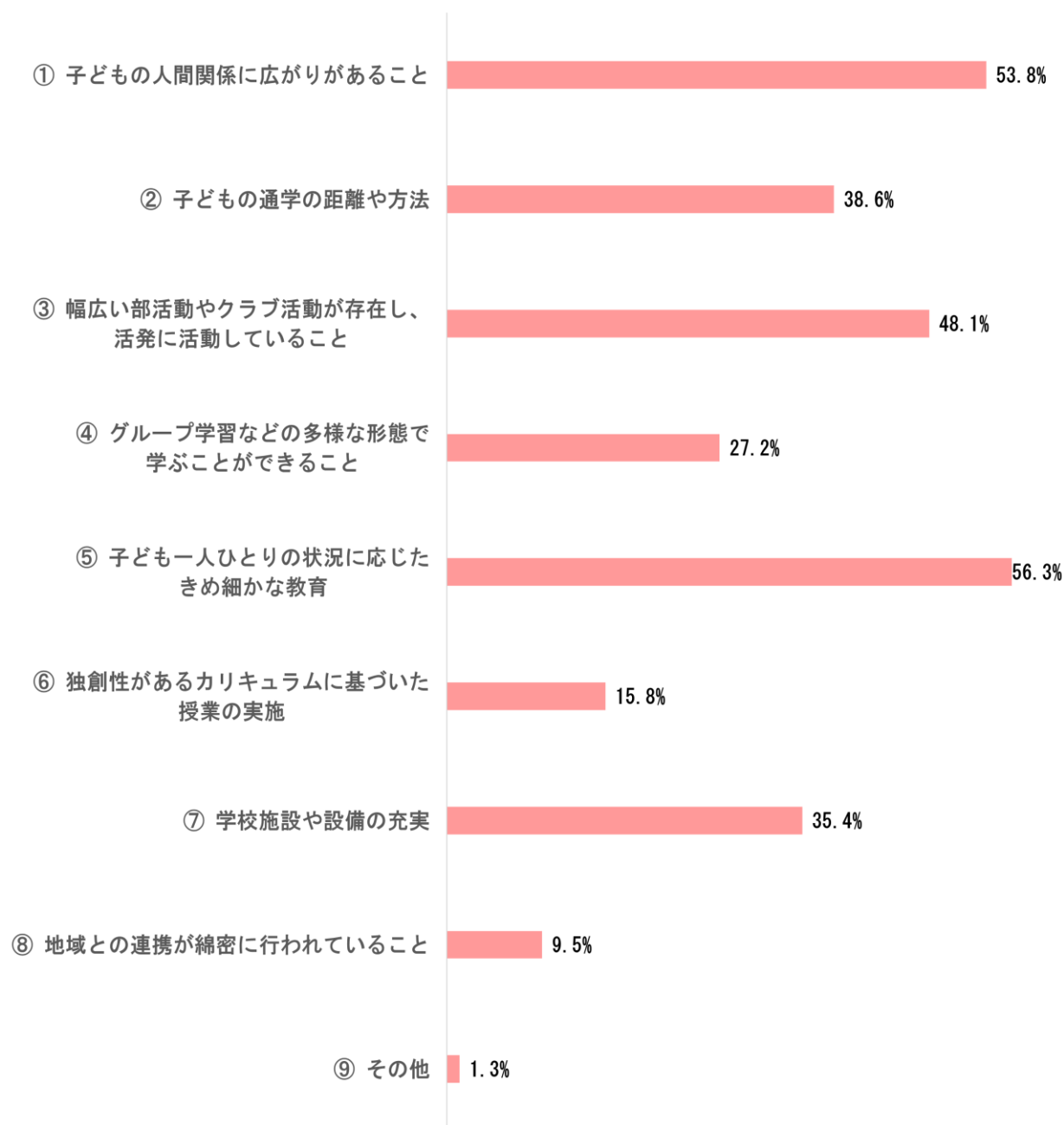
子どもたちにとって、魅力ある学校づくりを進めるために重要と思うことについて、次の項目から選択してください。(3 つまで)

●回答結果の概要

選択項目⑤、①、③の順に多く選ばれています。

回答した保護者の多くが、生徒たちに個別最適な学習が提供されること、学校生活での人間関係が充実していること、授業以外でも生徒たちが活発に活動する場があることを学校に期待しています。

保護者アンケート結果（対象 17 校の集計）と比較すると、③の割合が高くなっています。



1 「⑨ その他」の回答

- ・学習要項の統一化、平等に学習の機会を得られるよう中間テスト・休み明けテストなど学校ごとの差をなくして欲しい。
- ・子どもたちが子どもたちで考え、選び、楽しい行きたいと思う学校づくり。

2

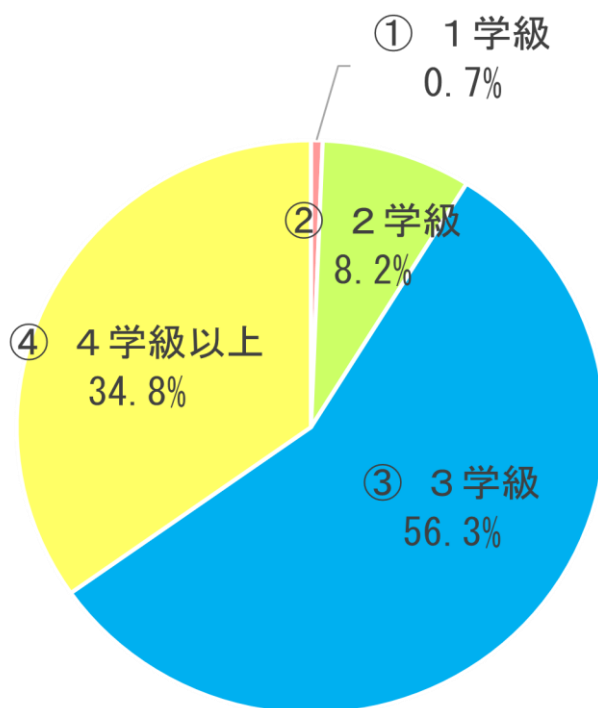
1学年当たりの学級数は何学級が望ましいと思いますか。次の項目から選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

坂下中学校は、現在、1年生が4学級、2年生及び3年生が3学級です。

回答した保護者の多くが、3学級以上を望ましいと考えており、「①1学級」を選んだ方は1パーセント以下となっています。

保護者アンケート結果（対象17校の集計）と比較すると、②の割合が低く、③と④の割合が高くなっています。



各学年の学級数が多い学校の「よい」と感じることにについて、次の項目から選択してください。
(3つまで)

●回答結果の概要

選択項目の②、⑤、①の順で選ばれており、回答した保護者の多くは、1学年あたりの学級数が多いことが、子どもたちの人間関係に好影響を与えるとともに、多くの同級生と関わることで社会性やコミュニケーション能力を身に付けることができると考えています。

保護者アンケート結果（対象 17 校の集計）と比較すると、④の割合が高くなっています。



3 「⑫ その他」の回答

- ・教員 1 人に対する生徒数を少なくすることで教員の目が届く教育に期待するため。

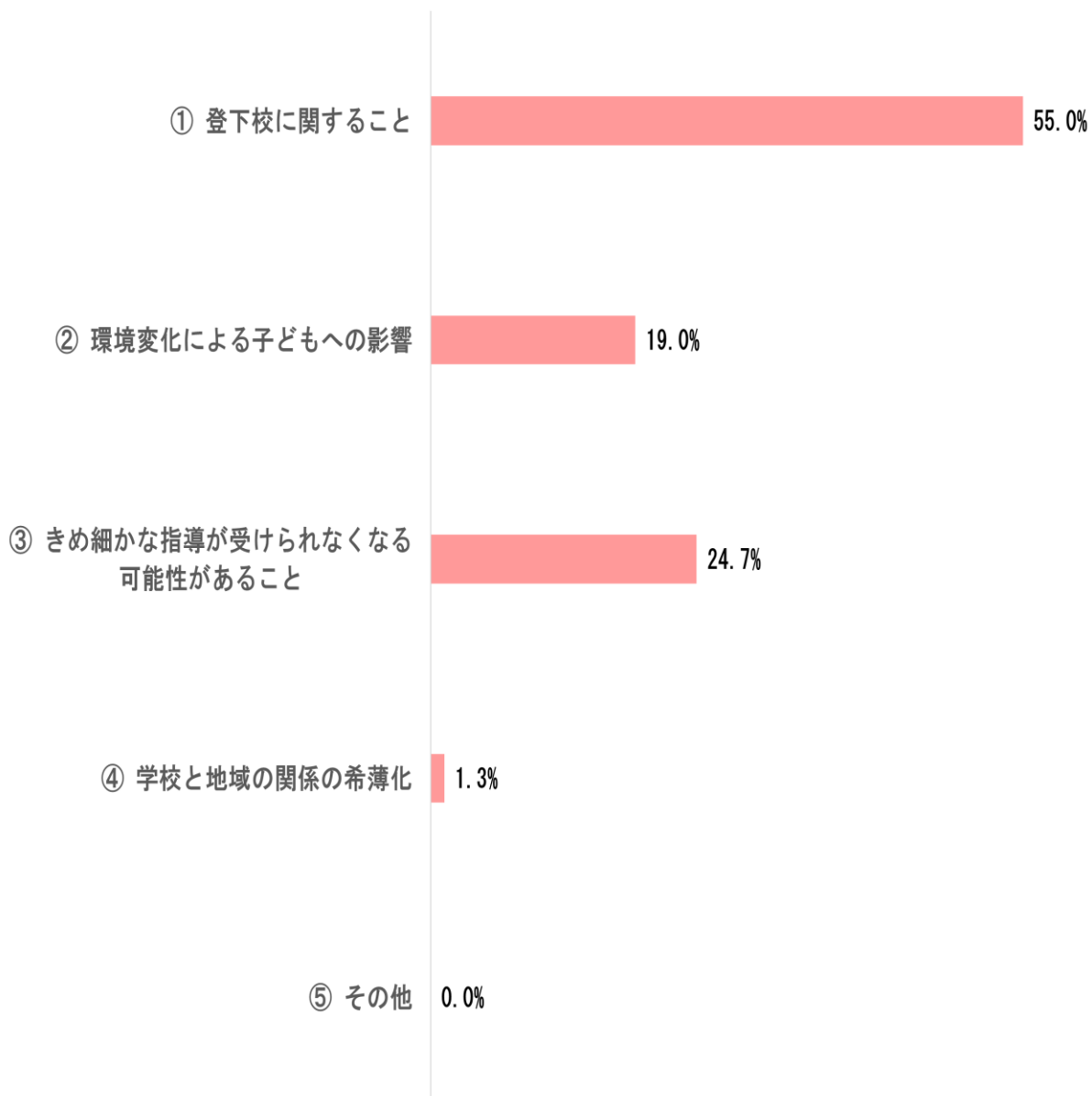
4

魅力ある学校づくりのために、学校の規模や配置を見直す場合、心配なことについて次の項目から選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

学校の規模や配置を見直す場合、通学路の変更や通学距離の延長の可能性が考えられることから、55%の方が「① 登下校に関すること」を心配と感じています。

保護者アンケート結果（対象 17 校の集計）と概ね同様の傾向となっています。

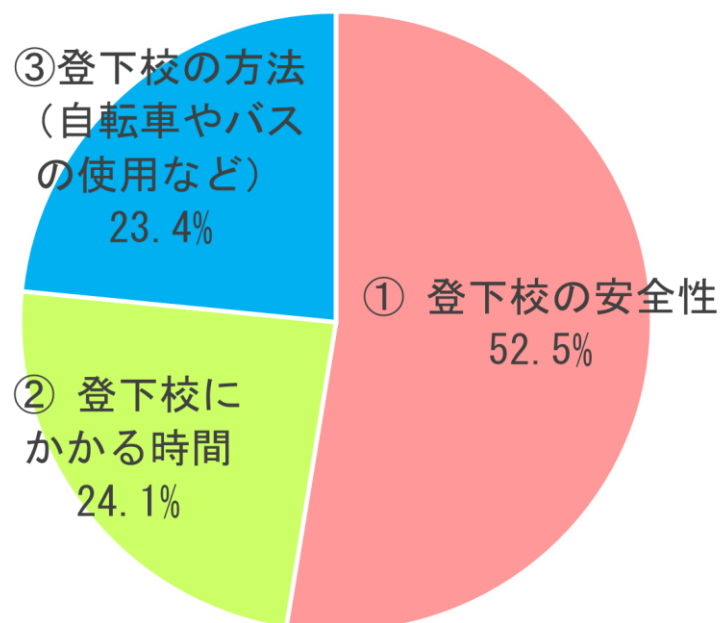


学校の規模や配置を見直す場合、登下校に関して最も重要だと思うことについて次の項目から選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

52.5%の方が「① 登下校の安全性」を最も重要と考えています。「④ その他」を選んだ方はいません。

保護者アンケート結果（対象 17 校の集計）と比較して、③の割合が高くなっており、学校区が広いことが要因として考えられます。



市は小中学校ともに1学年に2学級以上あることが必要と考えています。この考えに基づき、市内の小中学校が適正な規模や配置となるように取り組むことについて、どう思いますか。(1つ)

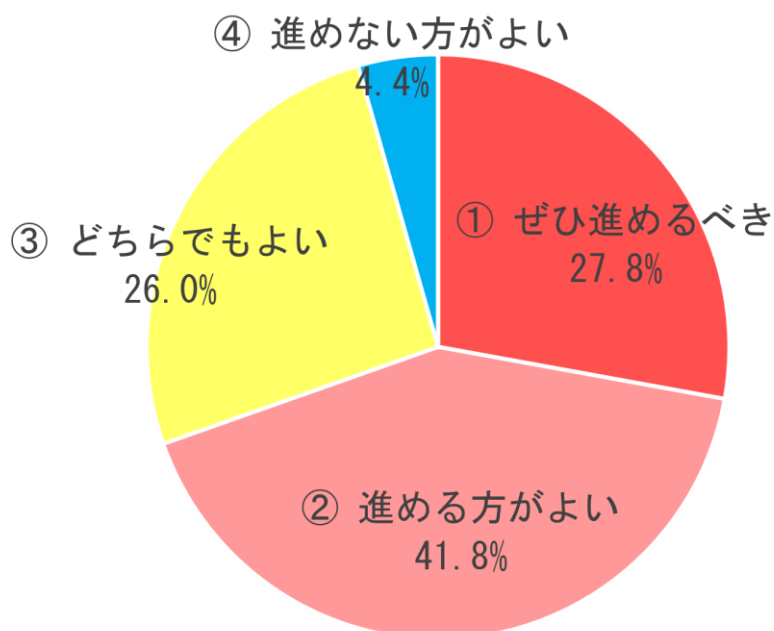
●回答結果の概要

69.6%の方が「① ぜひ進めるべき」又は「② 進める方がよい」と考えています。

①又は②を選んだ割合は、アンケート対象の小中学校 17 校の中で2 番目に高く、また中学校 5 校の中でも2 番目に高くなっています。

「④ 進めないほうがよい」と考える方は 4.4%で、「⑤ 進めるべきではない」を選んだ方はいません。

保護者アンケート結果（対象 17 校の集計）と比較すると、①と②の合計の割合は高くなっています。



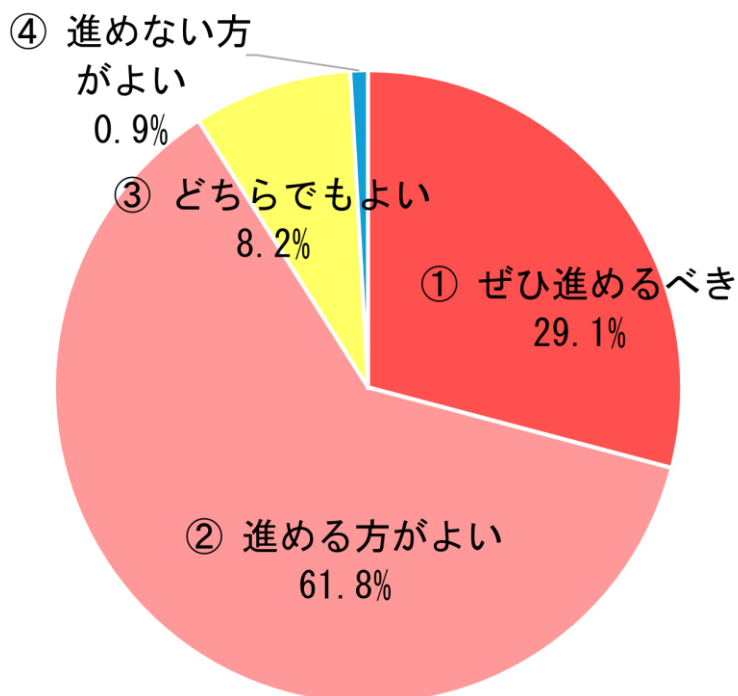
6の質問で「① ぜひ進めるべき」と「② 進める方がよい」と答えた方にお聞きします。坂下中学校が適正な規模や配置となるように取り組むことについてどう思いますか。(1つ)

●回答結果の概要

6の質問で①又は②を選んだ方の90.9%が、「坂下中学校においても学校の適正規模や配置について取り組むこと」に賛成しています。

「④ 進めない方がよい」と考えている方は1人で、「⑤ 進めるべきではない」を選んだ方はいません。

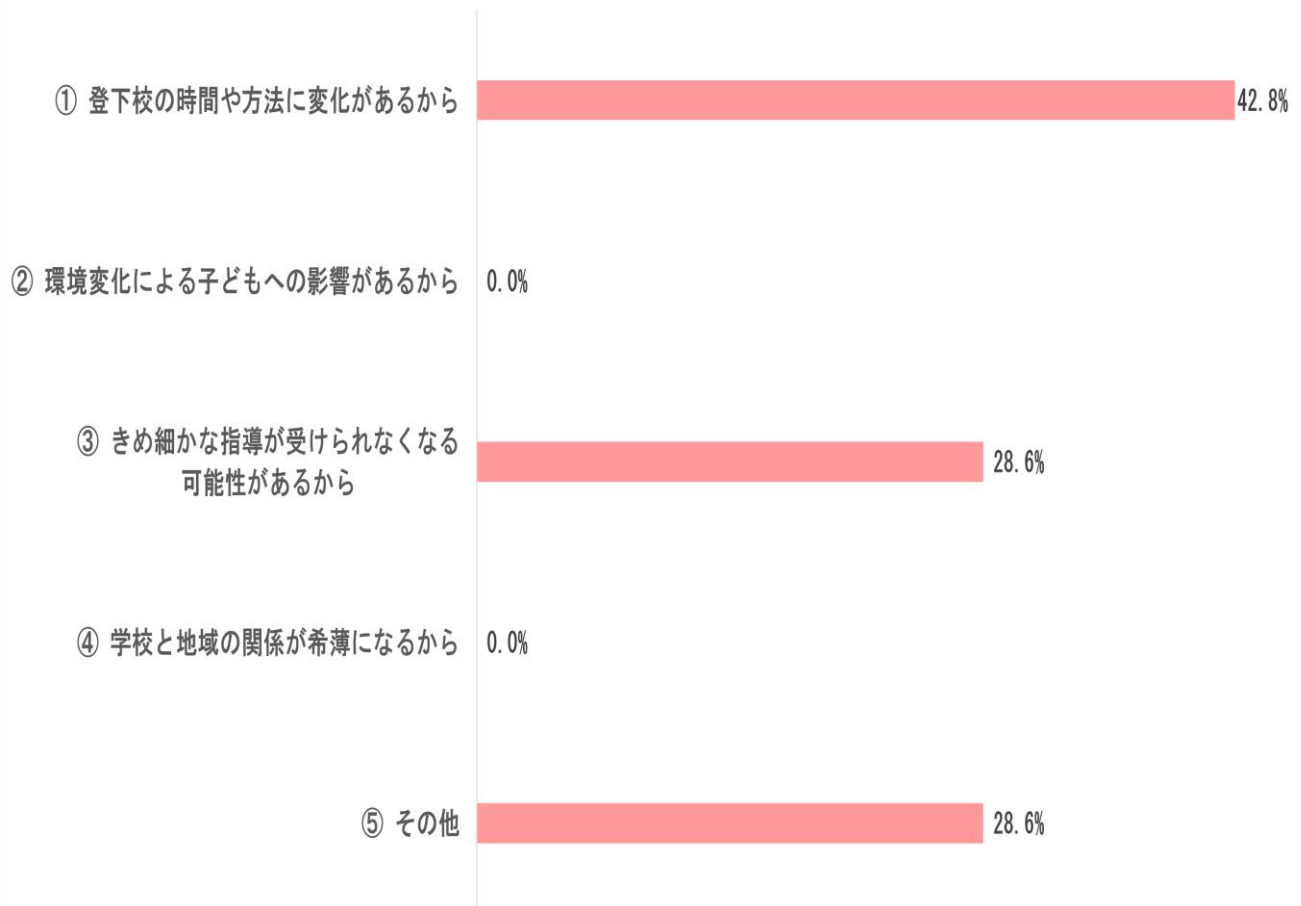
6の質問で春日井市全体としての考え方には賛成するものの、本質問では「③ どちらでもよい」を8.2%の人が、「④ 進めない方がよい」を0.9%の人が選択していることから、全体の回答者のうち、坂下中について取り組むことに賛成する方の割合は63.3%となります。



6の質問で「④ 進めない方がよい」と「⑤ 進めるべきではない」と答えた方にお聞きします。
その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

6の質問で④又は⑤を選んだ7人のうち、3人の方が「① 登下校の時間や方法に変化があるから」を選択し、最も多くなっています。



「⑤ その他」の回答

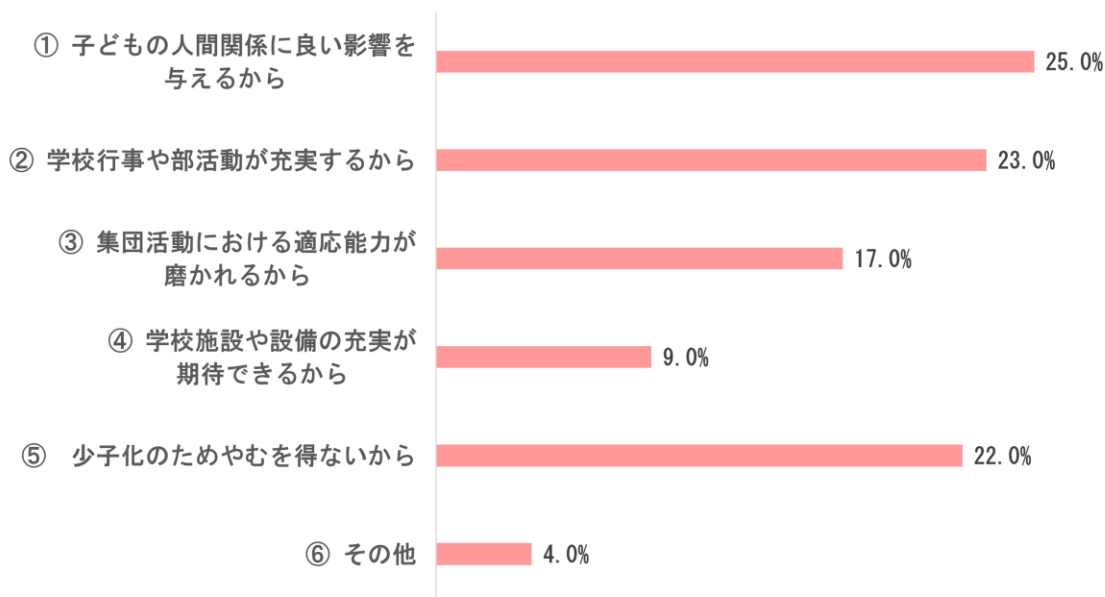
- ・その地域の過疎化が増す。
- ・少人数であっても子どもが学ぶ環境に多い学校と変わりが無いと思うから。

7-1の質問で「① ぜひ進めるべき」と「② 進める方がよい」と答えた方にお聞きします。その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

選択項目の①、②、⑤の順で選ばれています。

保護者アンケート結果（対象 17 校の集計）と比較すると、①の割合は低くなっています。



「⑥ その他」の回答

- ・学級数が少なければ、どちらかと言えば閉鎖的な社会で、噂は広まりやすく、一度ついた印象は、生徒にしろ、教師にしろ、卒業するまでなかなか変わらない。また、その空間が苦痛でも逃げ場がない。母数が多ければ、多少なりともそういったことが緩和されるかなと思うから。
- ・進めることは良いと思いますが、複式学級なども選択肢に残しながら、進めていくのが良いと思います。また、小学校を統合すると、通学時間の心配があるので、中学校を解体して、小中一貫校を作る方が良いのではないかと思います。不要になった中学校には、公立の学びの多様化の学校の整備をするのが、よいと思います。
- ・仲間との繋がりを持って学ぶことがいいと思われそうですが、ズームでできることもあるので、無理に進めなくても良いかもしれません。登下校の安全性、学校教育設備、繋がりとできた感をバランスよく考えていただきたいです。人口減少は止まらないので新しく設備を作るなら学校だけじゃもったいないと思います。

7-1の質問で「④ 進めない方がよい」と「⑤ 進めるべきではない」と答えた方にお聞きします。その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

7-1の質問で「④ 進めない方がよい」と考えている方は1名で、「① 登下校の時間や方法に変化があるから」と考えています。

これからの学校教育や学校施設に期待することについて、次の項目から選択してください。(3つまで)

●回答結果の概要

選択項目の⑦、⑤、①の順で選ばれています。

回答した保護者の多くが、快適に学校生活を送るための設備の充実、個別学習や特色ある授業に柔軟に対応できるスペース、ICTを活用した教育の推進を期待しています。

保護者アンケート結果（対象17校の集計）と比較すると、⑥の割合が低くなっています。



9 「⑪ その他」の回答

- ・各個人が自分の個性を大切にしながら輝ける場。子どもの人権が尊重される学校。
- ・子供たちに幅広くいろんなことを経験させてほしい。必ずしもお金をかけなくとも出来ることは沢山ある。
- ・支援が必要な子どももそうでない特別な支援や配慮が必要のない子どものどちらも(全ての子ども)が尊重される教育の場であるといいなと思っています。
- ・同じ公立中学校でも学力の差や学習に対する力の入れ方に差があるの感じます。坂下中学は試験校としてテストの回数を減らしているそうですが学力の低下や志望校への合格率低下が問題だという話をよく耳にしますし、肯定的な意見はまず聞きません。子供たちにとってテスト範囲が広がることで負担が増え、知識の定着を妨げており、保護者側も今後がとても心配だという声をよく耳にします。中学生は3年間後高校受験があり、将来に向けて学ぶ短くも大切な3年間です。同じ公立中学なのに学習の機会、定着の機会が奪われており不公平感を感じます。学力の低下が見られているのになぜ続けるのか疑問で納得できません。なぜ試験を続けているのか、どのような結果がでているのか保護者には何も知らされていません。テストが全てではないかもしれませんが学生のベースとなるのはやはり学力を付けることなのではないのでしょうか。自分の子供が坂下中学校の生徒だったらと、自分事として考えてくださらないのでしょうか。本件とは話がずれてしまっているかもしれませんが、学習に対する取り組みの改善、定期テストの復活を強く希望します。

アンケートの結果は以上です。

アンケートの結果をもとに、より良い教育環境の実現に向け、保護者や地域、関係者の皆様とともに議論を積み重ねていきたいと考えています。

今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



問い合わせ先

春日井市教育委員会 学校教育課

電話番号：0568-85-6149 FAX：0568-85-0991

Eメール：gakko@city.kasugai.lg.jp

保護者アンケート結果（藤山台中学校）

少子化により子どもの数が減少する中、市では、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するため、通学区域の変更や学校の統合などにより、小中学校の適正な規模の確保に努めるように検討を進めています。

検討にあたり保護者の方を対象にアンケートを実施しましたので、集計結果をご報告します。



◆アンケート概要

実施期間	令和7年5月19日（月）から6月6日（金）まで
対象者	藤山台中学校に通っている生徒の保護者
実施手法	学校から保護者への連絡システム 「Home&School」から回答
生徒数	198人
Home&School 通知数	192人
回答数	102人
回答率	53.1%

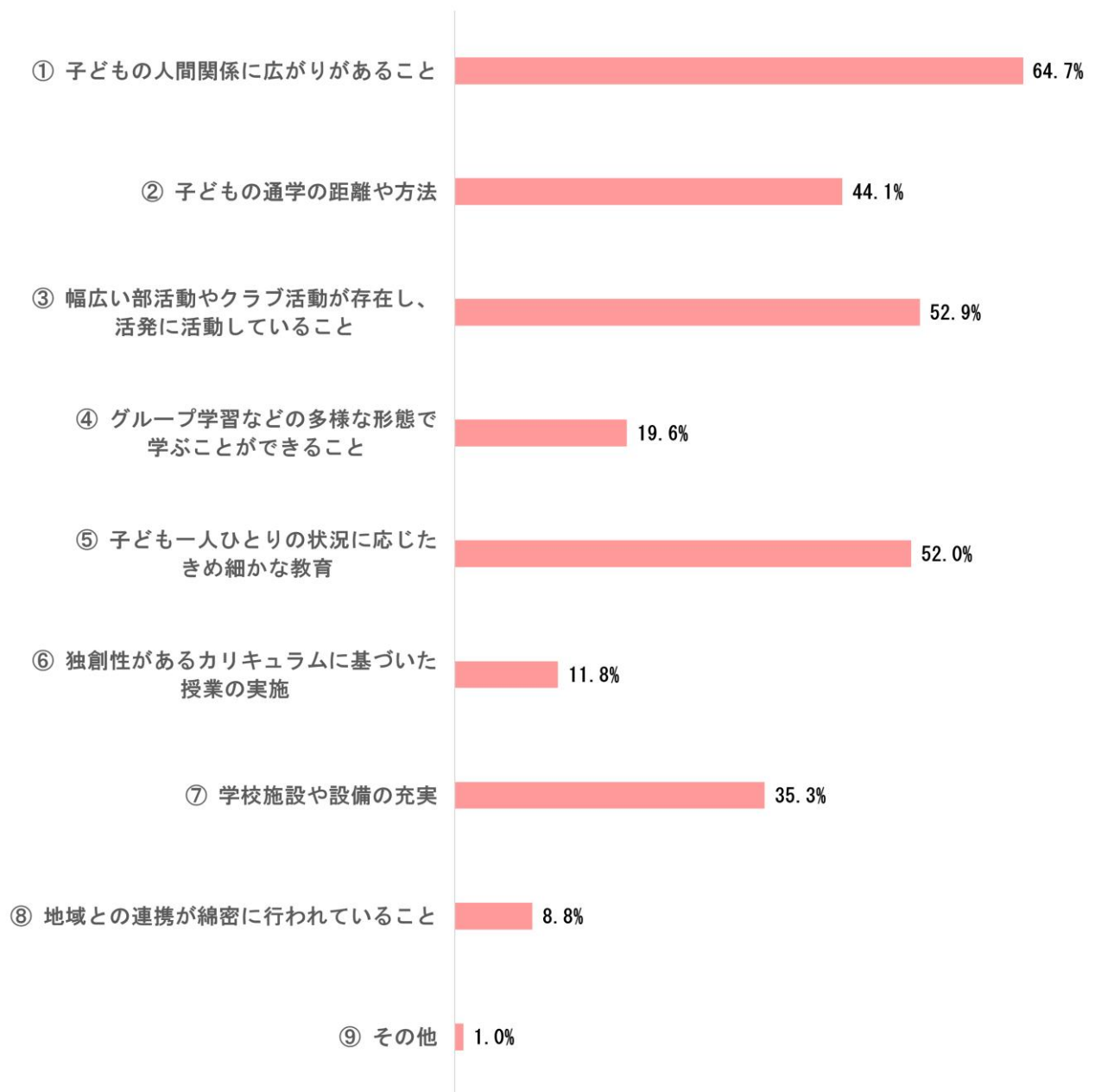
子どもたちにとって、魅力ある学校づくりを進めるために重要と思うことについて、次の項目から選択してください。(3 つまで)

●回答結果の概要

選択項目①、③、⑤の順に多く選ばれています。

回答した保護者の多くが、学校生活での人間関係が充実していること、授業以外でも生徒たちが活発に活動する場があること、生徒たちに個別最適な学習が提供されることを学校に期待しています。

保護者アンケート結果（対象 17 校の集計）と比較すると③の割合が高くなっています。



「⑨ その他」の回答

・受験を見据えたカリキュラムの充実。

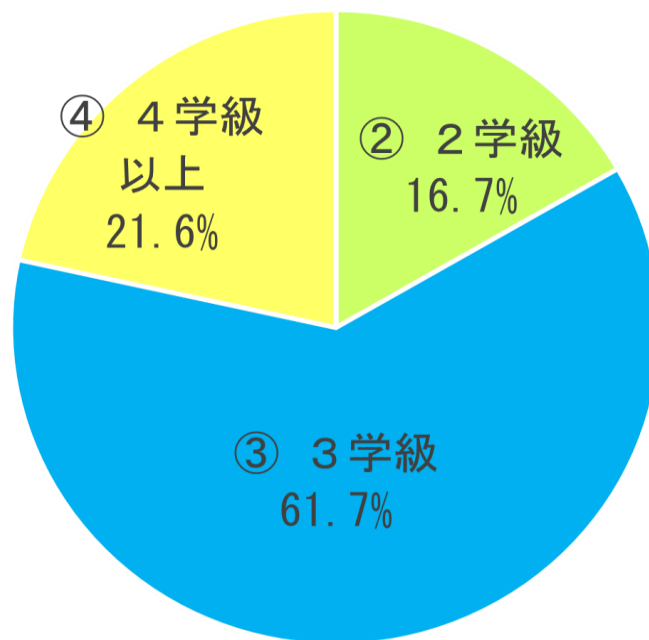
1学年当たりの学級数は何学級が望ましいと思いますか。次の項目から選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

藤山台中は現在、全ての学年が2学級です。

回答した保護者の全てが現在の学級数以上を望ましいと考えています。

保護者アンケート結果（対象17校の集計）と比較すると、②の割合が低く、③と④の割合が高くなっています。



各学年の学級数が多い学校の「よい」と感じることにについて、次の項目から選択してください。
(3つまで)

●回答結果の概要

選択項目の②、①、⑤の順で選ばれており、回答した保護者の多くは、1学年あたりの学級数が多いことが、子どもたちの人間関係に好影響を与えるとともに、多くの同級生と関わることで社会性やコミュニケーション能力を身に付けることができると考えています。

保護者アンケート結果（対象 17 校の集計）と概ね同様の傾向となっています。

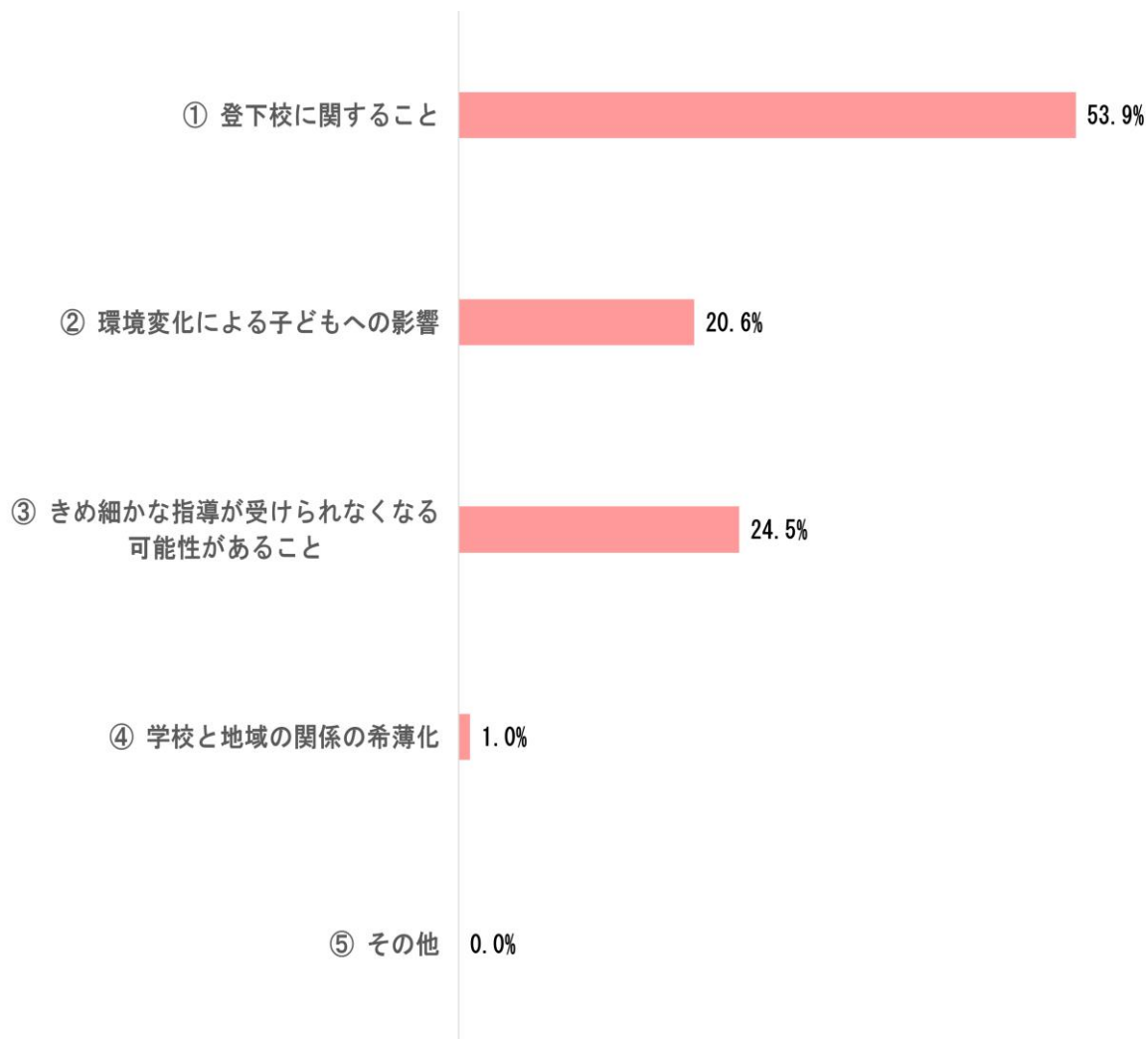


魅力ある学校づくりのために、学校の規模や配置を見直す場合、心配なことについて次の項目から選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

学校の規模や配置を見直す場合、通学路の変更や通学距離の延長の可能性が考えられることから、53.9%の方が「① 登下校に関すること」を心配と感じています。

保護者アンケート結果（対象 17 校の集計）と概ね同様の傾向となっています。

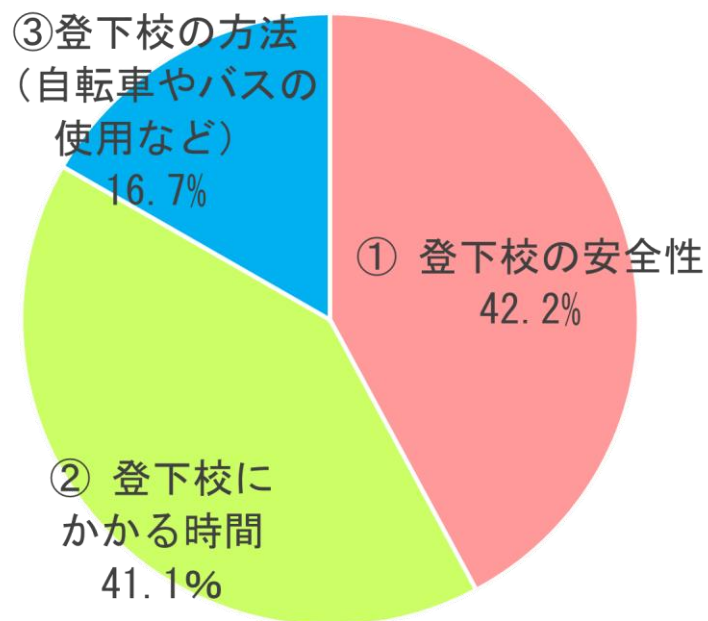


学校の規模や配置を見直す場合、登下校に関して最も重要だと思うことについて次の項目から選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

登下校に関しては、安全性を 42.2%、時間を 41.1%の方が重要と考えています。「④ その他」を選んだ方はいません。

保護者アンケート全体（対象 17 校の集計）と比較すると、①の割合が低く、②の割合が高くなっています。



市は小中学校ともに1学年に2学級以上あることが必要と考えています。この考えに基づき、市内の小中学校が適正な規模や配置となるように取り組むことについて、どう思いますか。(1つ)

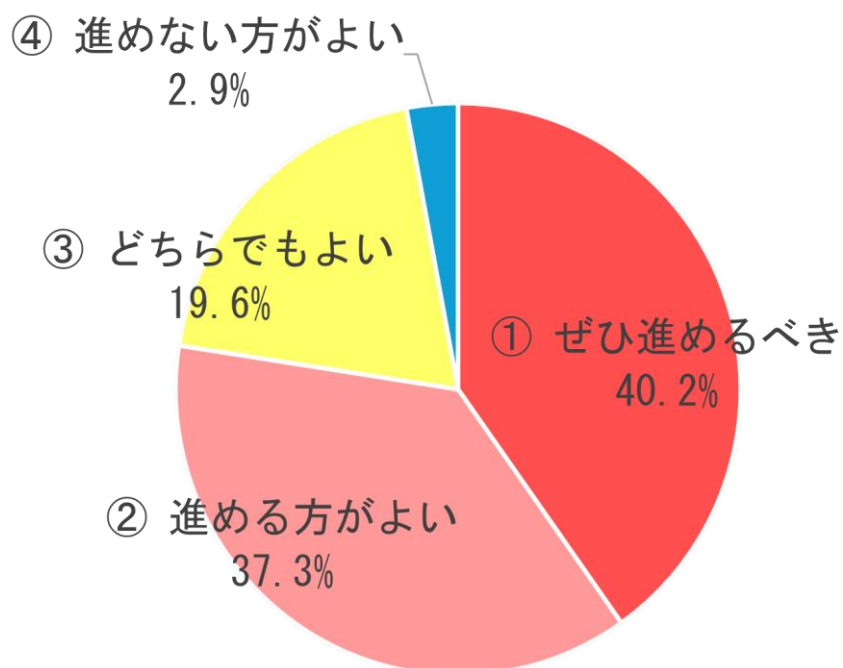
●回答結果の概要

77.5%の方が「① ぜひ進めるべき」又は「② 進める方がよい」と考えています。

①又は②を選んだ割合は、アンケート対象の小中学校 17 校の中で最も高い比率になっています。

「③ どちらでもよい」を選んだ割合は 19.6%で、対象の小中学校の中で最も低くなっています。

保護者アンケート結果（対象 17 校の集計）と比較すると、①の割合が高く、③の割合が低くなっています。



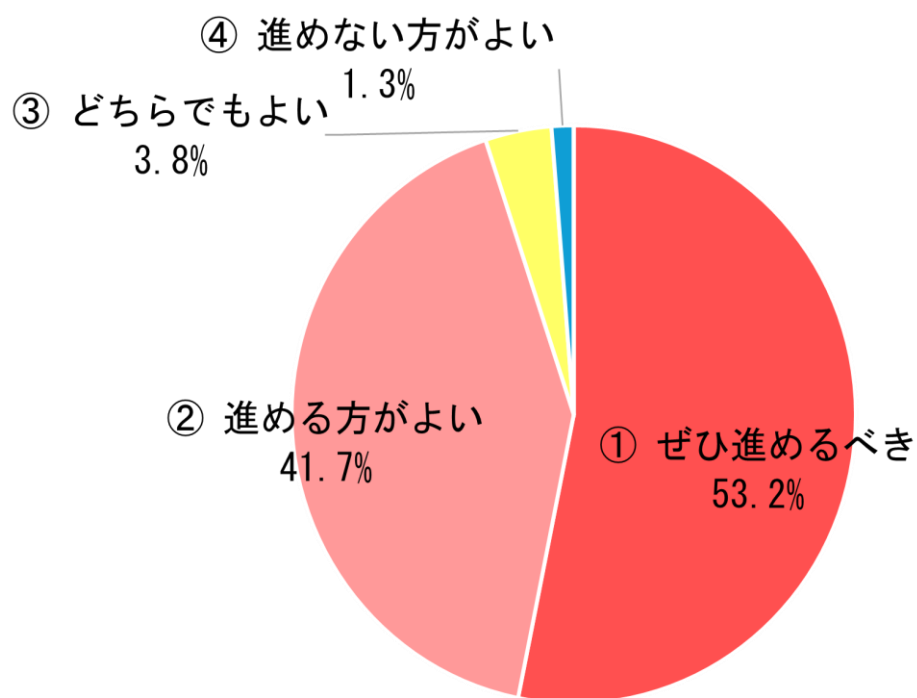
6の質問で「① ぜひ進めるべき」と「② 進める方がよい」と答えた方にお聞きします。藤山台中学校が適正な規模や配置となるように取り組むことについてどう思いますか。(1つ)

●回答結果の概要

6の質問で①又は②を選んだ方の94.9%が、「藤山台中学校においても学校の適正規模や配置について取り組むこと」に賛成しています。

「④ 進めない方がよい」と考えている方は1人で、「⑤ 進めるべきではない」を選んだ方はいません。

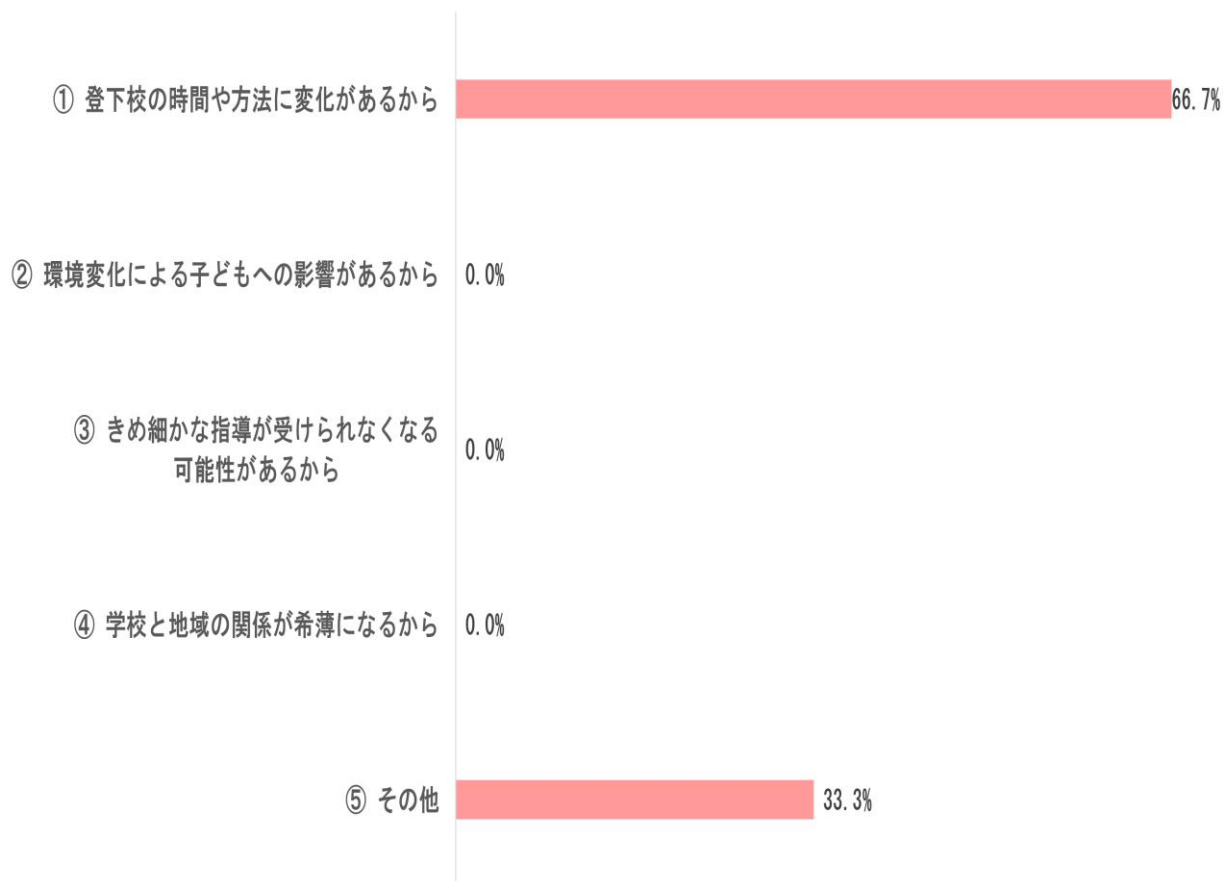
6の質問で、春日井市全体としての考え方には賛成するものの、本質問では「③ どちらでもよい」を3.8%、「④ 進めない方がよい」を1.3%の人が選択していることから、全体の回答者のうち、藤山台中について取り組むことに賛成する方の割合は73.5%となります。これは、保護者アンケート結果（対象17校の集計）で、最も高くなっています。



6の質問で「④ 進めない方がよい」と「⑤ 進めるべきではない」と答えた方にお聞きします。
その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

6の質問で④又は⑤を選んだ3人のうち、2人が「① 登下校の時間や方法に変化があるから」を選択しています。



「⑤ その他」の回答

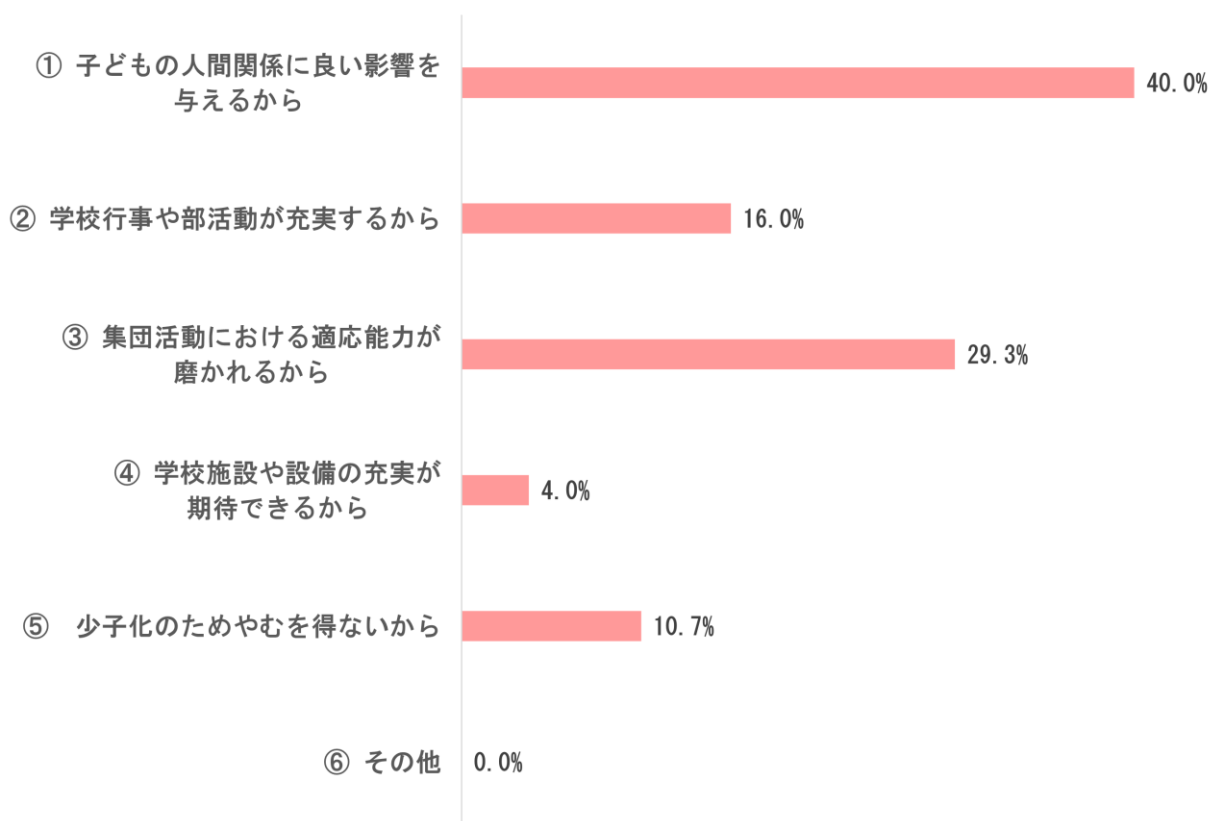
- ・近くの中学が荒れていて、統合してほしい。

7-1の質問で「① ぜひ進めるべき」と「② 進める方がよい」と答えた方にお聞きします。その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

選択項目の①、③、②の順で選ばれています。

保護者アンケート結果（対象 17 校の集計）と概ね同様の傾向となっています。



7-1の質問で「④ 進めない方がよい」と「⑤ 進めるべきではない」と答えた方にお聞きします。その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

7-1の質問で「④ 進めない方がよい」が1名で、「③ きめ細かな指導が受けられなくなる可能性があるから」と考えています。

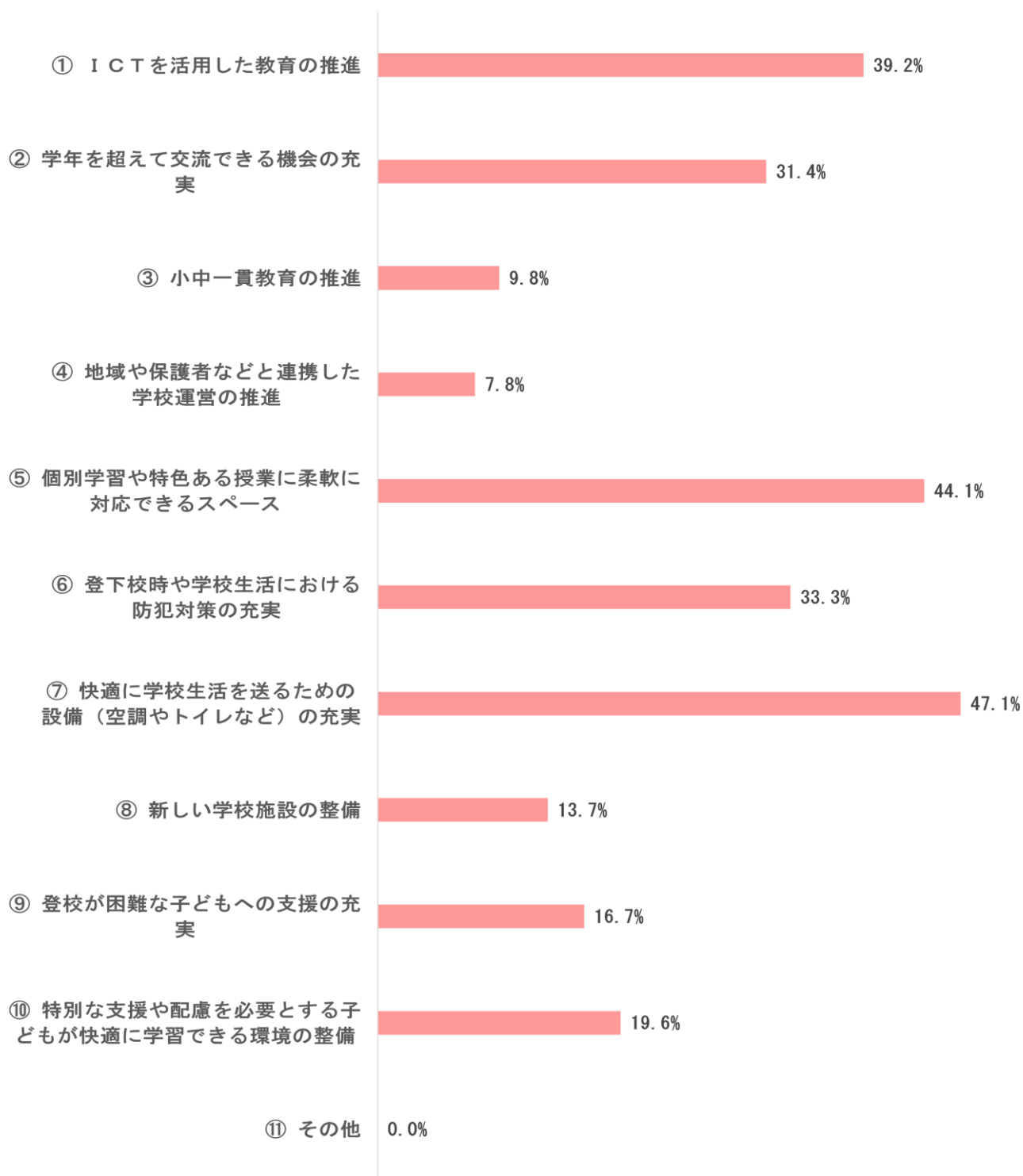
これからの学校教育や学校施設に期待することについて、次の項目から選択してください。(3つまで)

●回答結果の概要

選択項目の⑦、⑤、①の順で選ばれています。

回答した保護者の多くが、快適に学校生活を送るための設備の充実、個別学習や特色ある授業に柔軟に対応できるスペース、ICTを活用した教育の推進を期待しています。

保護者アンケート結果（対象17校の集計）の結果と比較すると、⑥の割合が低くなっています。



アンケートの結果は以上です。

アンケートの結果をもとに、より良い教育環境の実現に向け、保護者や地域、関係者の皆様とともに議論を積み重ねていきたいと考えています。

今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



問い合わせ先

春日井市教育委員会 学校教育課

電話番号：0568-85-6149 FAX：0568-85-0991

Eメール：gakko@city.kasugai.lg.jp

保護者アンケート結果（高森台中学校）

少子化により子どもの数が減少する中、市では、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するため、通学区域の変更や学校の統合などにより、小中学校の適正な規模の確保に努めるように検討を進めています。

検討にあたり保護者の方を対象にアンケートを実施しましたので、集計結果をご報告します。



◆アンケート概要

実施期間	令和7年5月19日（月）から6月6日（金）まで
対象者	高森台中学校に通っている生徒の保護者
実施手法	学校から保護者への連絡システム 「Home&School」から回答
生徒数	307人
Home&School 通知数	378人
回答数	133人
回答率	35.2%

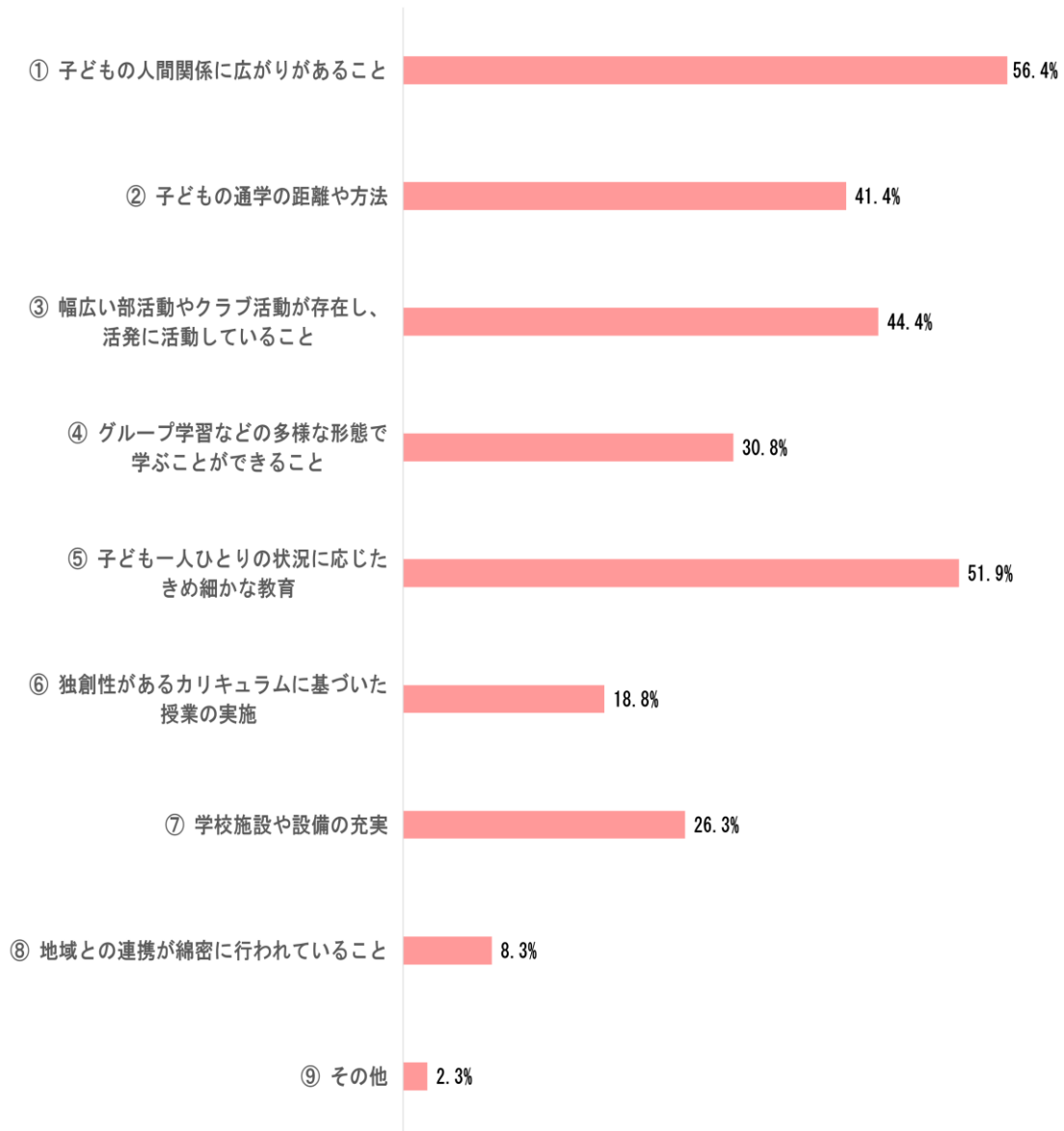
子どもたちにとって、魅力ある学校づくりを進めるために重要と思うことについて、次の項目から選択してください。(3 つまで)

●回答結果の概要

選択項目①、⑤、③の順に多く選ばれています。

回答した保護者の多くが、学校生活での人間関係が充実していること、生徒たちに個別最適な学習が提供されること、授業以外で生徒たちが活発に活動する場があることを学校に期待しています。

保護者アンケート結果（対象 17 校の集計）と比較すると、③の割合が高くなっています。



「⑨ その他」の回答

- ・一人ひとりが自分は何に興味があるのかを知り、探究する。
- ・自由な学校選び。
- ・先生と親との情報交換。連携。

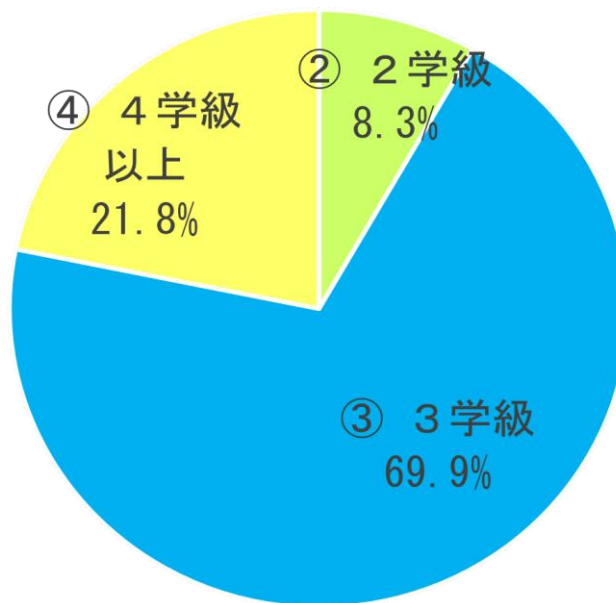
1学年当たりの学級数は何学級が望ましいと思いますか。次の項目から選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

高森台中は、現在、全ての学年が3学級です。

回答した保護者の91.7%が現在の学級数以上を望ましいと考えています。

保護者アンケート結果（対象17校の集計）と比較すると、②の割合が低く、③と④の割合が高くなっています。



各学年の学級数が多い学校の「よい」と感じることにについて、次の項目から選択してください。
(3つまで)

●回答結果の概要

選択項目の②、①、⑤の順で選ばれており、回答した保護者の多くは、1学年あたりの学級数が多いことが、子どもたちの人間関係に好影響を与えるとともに、多くの同級生と関わることで社会性やコミュニケーション能力を身に付けることができると考えています。

保護者アンケート結果（対象 17 校の集計）と概ね同様の傾向となっています。

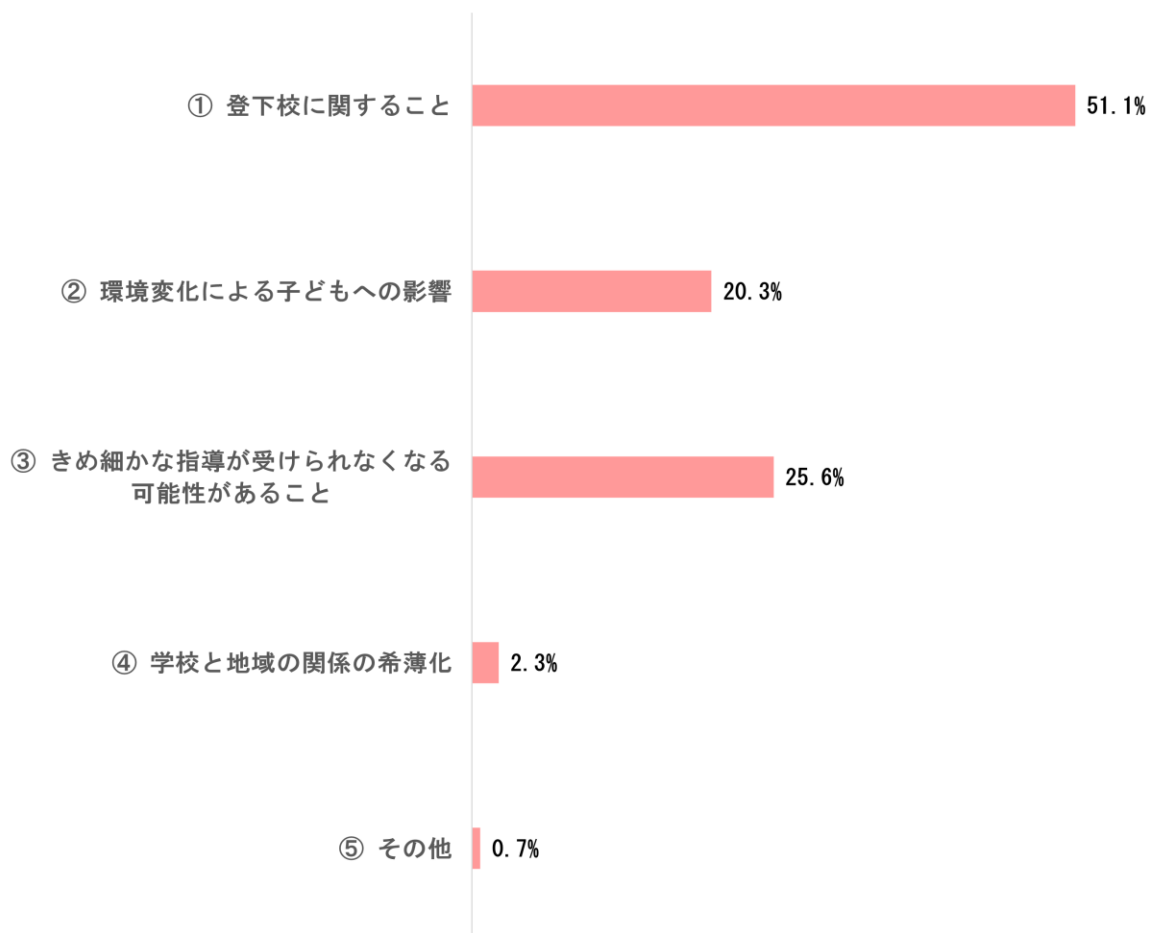


魅力ある学校づくりのために、学校の規模や配置を見直す場合、心配なことについて次の項目から選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

学校の規模や配置を見直す場合、通学路の変更や通学距離の延長の可能性が考えられることから、51.1%の方が「① 登下校に関すること」を心配と感じています。

保護者アンケート結果（対象 17 校の集計）と概ね同様の傾向となっています。



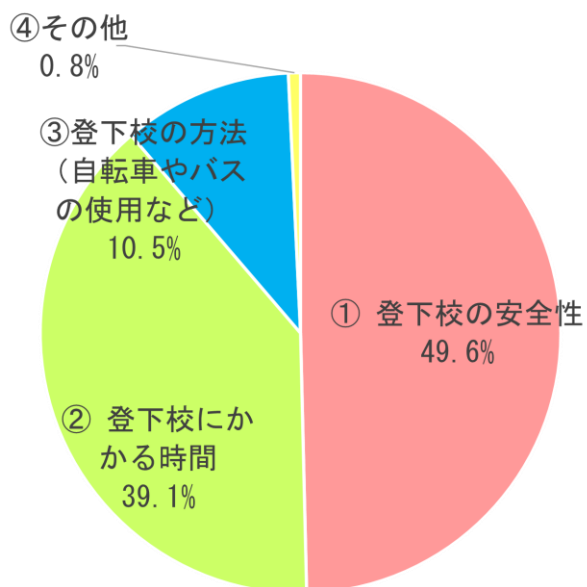
「⑤ その他」の回答

・①と②が同程度重要だと思います。

学校の規模や配置を見直す場合、登下校に関して最も重要だと思うことについて次の項目から選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

登下校に関しては、安全性を 49.6%、時間を 39.1%の方が重要と考えています。
保護者アンケート結果（対象 17 校の集計）と概ね同様の傾向となっています。



「④ その他」の回答

- ・①から③、全て重要だと思います。

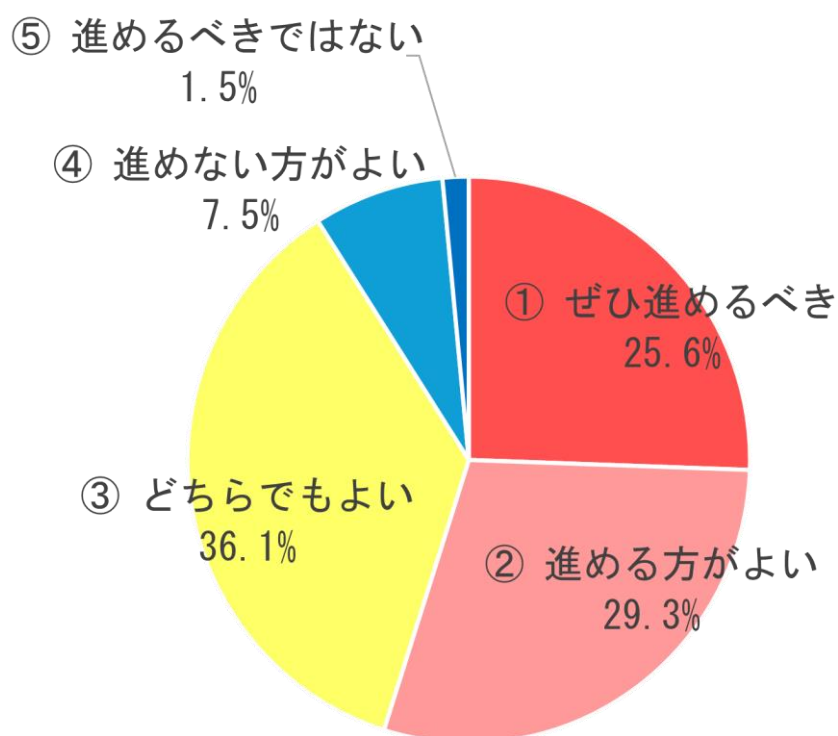
市は小中学校ともに1学年に2学級以上あることが必要と考えています。この考えに基づき、市内の小中学校が適正な規模や配置となるように取り組むことについて、どう思いますか。(1つ)

●回答結果の概要

54.9%の方が「① ぜひ進めるべき」又は「② 進める方がよい」と考えています。

①又は②を選んだ割合は、アンケート対象の小中学校 17 校の中で4 番目に低く、中学校 5 校の中では最も低くなっています。市の考え方に賛同する方は、回答者の過半数を超えるものの、他校より低い傾向があります。

保護者アンケート結果（対象 17 校の集計）と比較すると、③を選んだ割合は 36.1%で 17 校の中で最も比率が高くなっています。

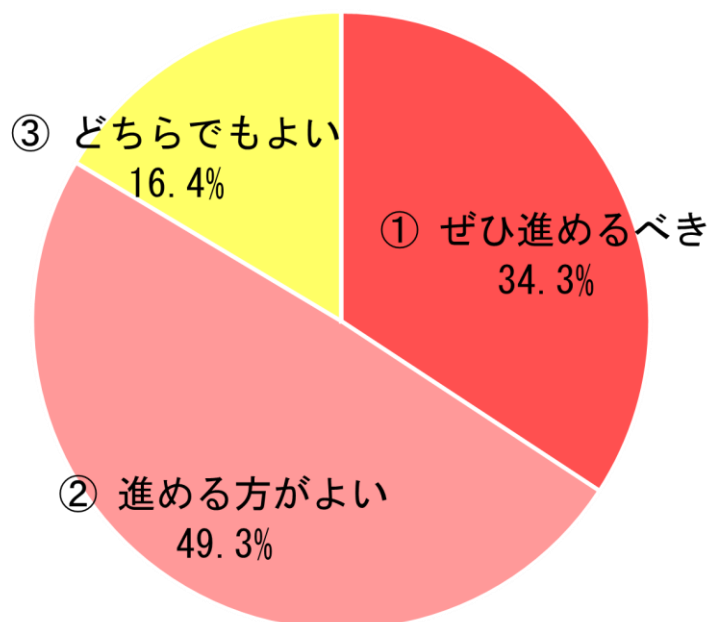


6の質問で「① ぜひ進めるべき」と「② 進める方がよい」と答えた方にお聞きします。高森台中学校が適正な規模や配置となるように取り組むことについてどう思いますか。(1つ)

●回答結果の概要

6の質問で①又は②を選んだ方の 83.6%が「高森台中学校においても学校の適正規模や配置について取り組むこと」に賛成しています。「④ 進めない方がよい」と「⑤ 進めるべきではない」を選んだ方はいません。

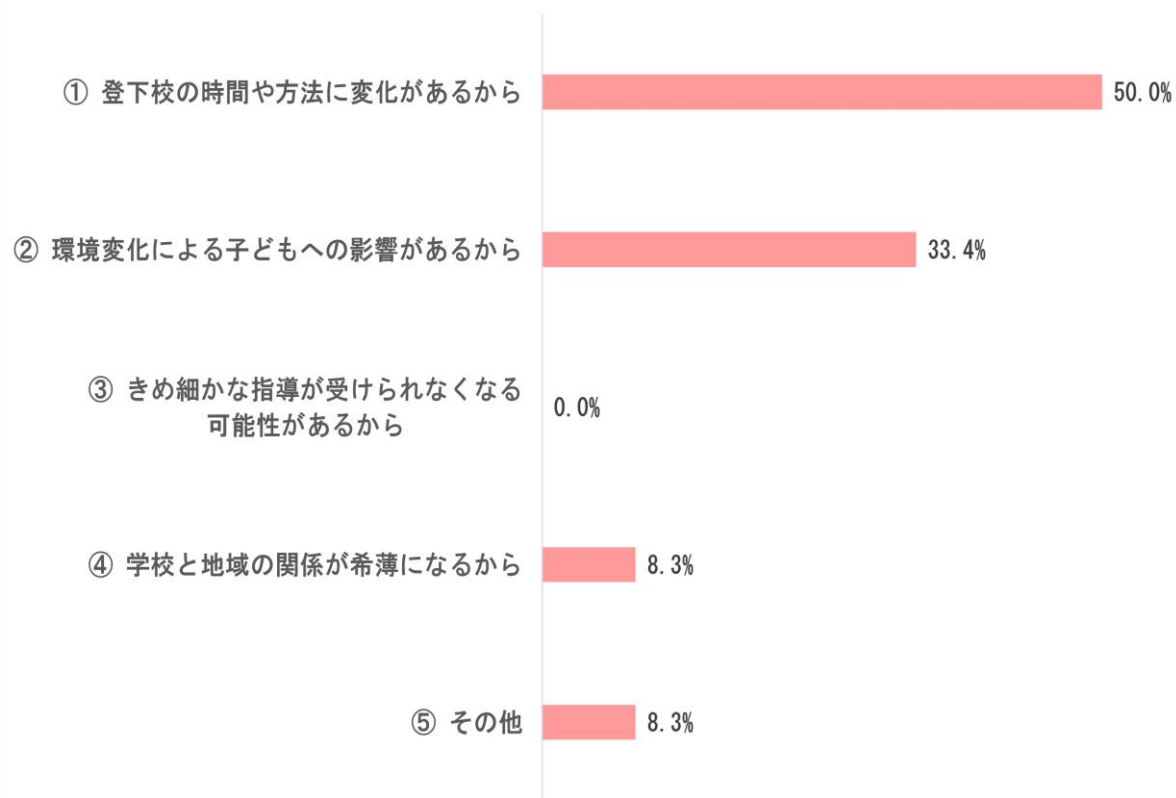
6の質問で、春日井市全体としての考え方には賛成するものの、本質問では「③ どちらでもよい」を 16.4%の方が選択していることから、全体の回答者のうち、高森台中について取り組むことに賛成する方の割合は 45.9%となります。これは、アンケート対象の小中学校 17 校の中で3番目に低く、中学校5校の中では最も低くなっています。



6の質問で「④ 進めない方がよい」と「⑤ 進めるべきではない」と答えた方にお聞きします。
その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

6の質問で④又は⑤を選んだ 12 人のうち、6人が「① 登下校の時間や方法に変化があるから」を選択し、最も多くなっています。



「⑤ その他」の回答

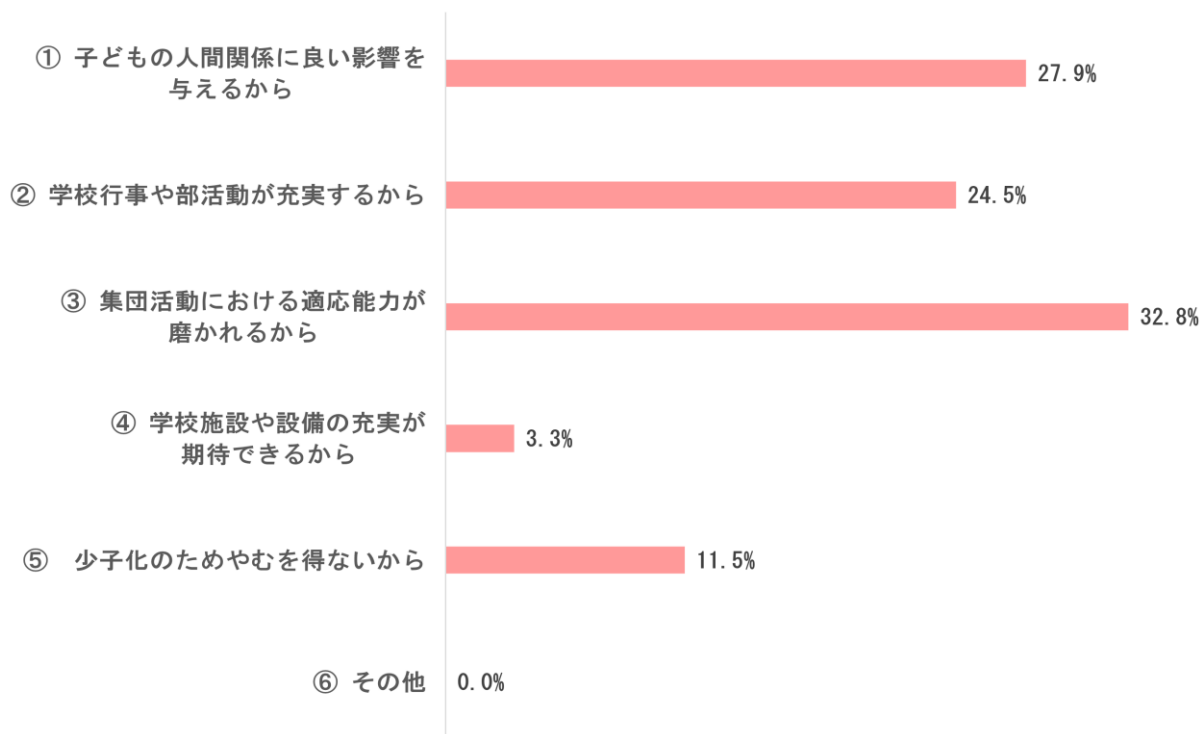
- ・二学級以上になると良い具体的な理由が分からないため現状困っていないためこのままで良い。

7-1の質問で「① ぜひ進めるべき」と「② 進める方がよい」と答えた方にお聞きします。その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

選択項目の③、①、②の順で選ばれています。

保護者アンケート結果（対象 17 校の集計）と比較すると、②の割合が高く、①の割合が低くなっています。



7-1の質問で「④ 進めない方がよい」と「⑤ 進めるべきではない」と答えた方にお聞きします。その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

7-1 の質問で「④ 進めない方がよい」又は「⑤ 進めるべきではない」を選んだ方がいなかったため、回答者はいません。

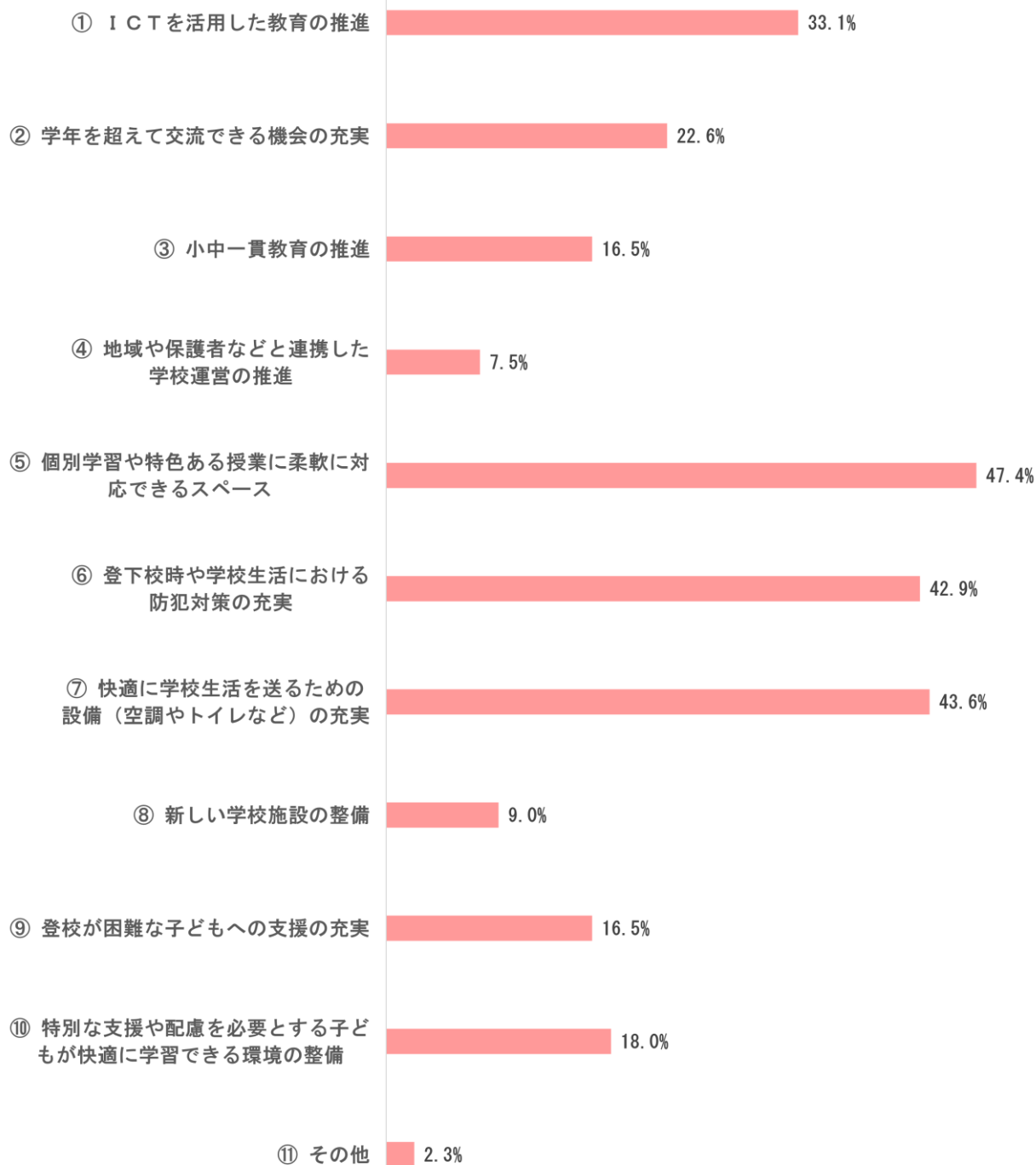
これからの学校教育や学校施設に期待することについて、次の項目から選択してください。(3つまで)

●回答結果の概要

選択項目の⑤、⑦、⑥の順で選ばれています。

回答した保護者の多くが、個別学習や特色ある授業に柔軟に対応できるスペース、快適に学校生活を送るための設備の充実、登下校時や学校生活における防犯対策の充実を期待しています。

保護者アンケート結果（対象 17 校の集計）と比較すると、⑤の割合が高くなっています。



9 「⑪ その他」の回答

- ・ICT 教育と平行して、あえてアナログな体験(実際に目で見ると、耳で聞く、物を作る、本を読むなど)も積極的に学校教育に取り入れていっていただくことを期待します。そうした体験が減っているように感じるため。
- ・海外の方を受け入れて交換留学的なグローバルな教育を期待したい。
- ・勉強についてわからないことを気軽に聞ける環境の充実。また、ICT 教育のための Wi-Fi 環境や生徒用 PC の定期的な更新。

アンケートの結果は以上です。

アンケートの結果をもとに、より良い教育環境の実現に向け、保護者や地域、関係者の皆様とともに議論を積み重ねていきたいと考えています。

今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



問い合わせ先

春日井市教育委員会 学校教育課

電話番号：0568-85-6149 FAX：0568-85-0991

Eメール：gakko@city.kasugai.lg.jp

保護者アンケート結果（石尾台中学校）

少子化により子どもの数が減少する中、市では、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するため、通学区域の変更や学校の統合などにより、小中学校の適正な規模の確保に努めるように検討を進めています。

検討にあたり保護者の方を対象にアンケートを実施しましたので、集計結果をご報告します。



◆アンケート概要

実施期間	令和7年5月19日（月）から6月6日（金）まで
対象者	石尾台中学校に通っている生徒の保護者
実施手法	学校から保護者への連絡システム 「Home&School」から回答
生徒数	343人
Home&School 通知数	431人
回答数	200人
回答率	46.4%

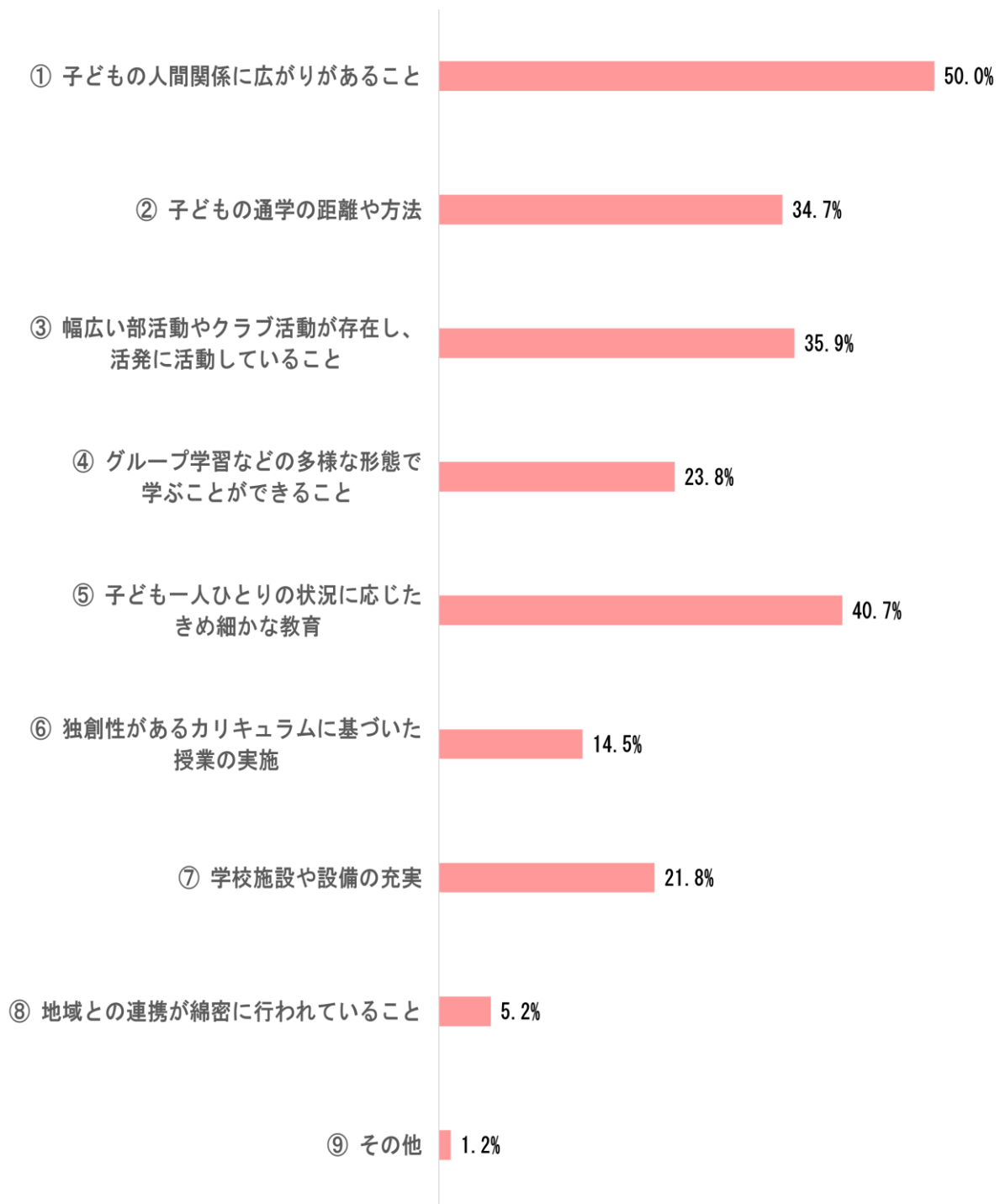
子どもたちにとって、魅力ある学校づくりを進めるために重要と思うことについて、次の項目から選択してください。(3 つまで)

●回答結果の概要

選択項目①、⑤、③の順に多く選ばれています。

回答した保護者の多くが、学校生活での人間関係が充実していること、生徒たちに個別最適な学習が提供されること、授業以外で生徒たちが活発に活動する場があることを学校に期待しています。

保護者アンケート結果（対象 17 校の集計）と比較すると、⑤の割合が低くなっています。



1 「⑨ その他」の回答

- ・学校での凶悪犯罪の増加に伴い、教室にも防犯カメラをつけるべき。プライバシーの侵害になるのは犯罪者や加害者にとってだけ。真面目に生活している生徒と教師や被害者にとってはメリットしかないと思うが。
- ・学年の枠を越えた人間関係
- ・高校受験に向けて、進学を強く希望する生徒同士が、モラルを守り静かに集中し、授業を受けられる環境作り

2

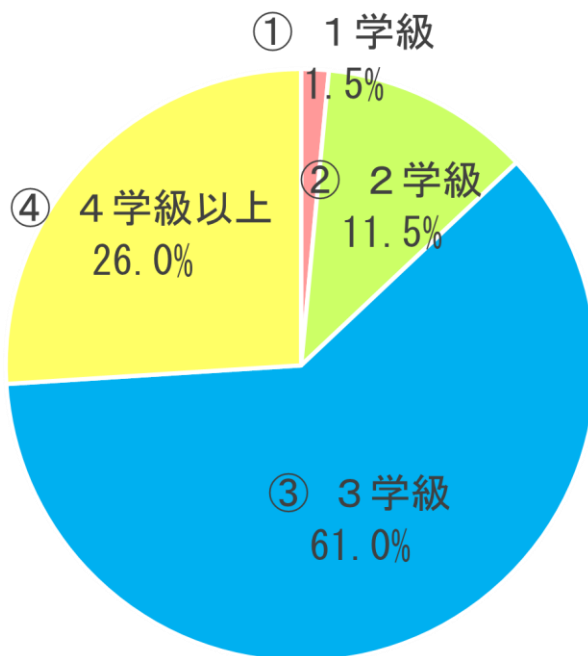
1学年当たりの学級数は何学級が望ましいと思いますか。次の項目から選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

石尾台中は現在、1年生が4学級、2年生及び3年生が3学級です。

回答した保護者の87.0%が3学級以上が望ましいと考えています。

保護者アンケート結果（対象17校の集計）と比較すると、②の割合が低く、③と④の割合が高くなっています。

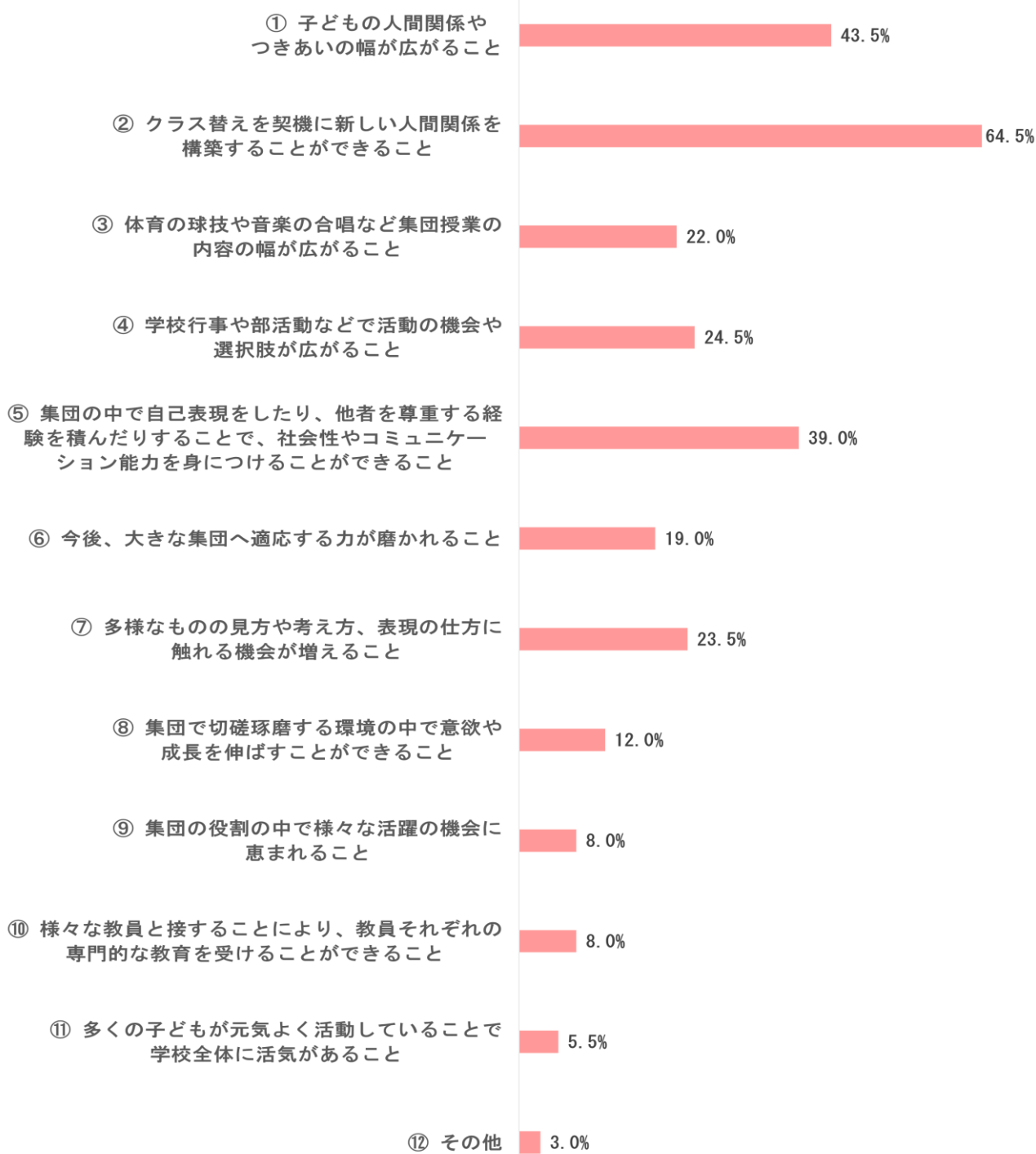


各学年の学級数が多い学校の「よい」と感じることにについて、次の項目から選択してください。
(3つまで)

●回答結果の概要

選択項目の②、①、⑤の順で選ばれており、回答した保護者の多くは、1学年あたりの学級数が多いことが、子どもたちの人間関係に好影響を与えるとともに、多くの同級生と関わることで社会性やコミュニケーション能力を身に付けることができると考えられています。

保護者アンケート結果（対象 17 校の集計）と概ね同様の傾向となっています。



3 「⑫ その他」の回答

- ・ いじめなどの被害者にとってはクラス替えがきかないのは致命的だから。
- ・ 学級数が多い学校に魅力を感じないため、よいところはない。
- ・ 私は小、中、高、専のうち中学だけクラス替えがありました。逆にクラス替えが無いことにメリットを感じています。
- ・ 少人数でわからないことにも対応できるようにするのが望ましい。
- ・ 少人数制の生徒数により、より授業に集中し学び合うことへの実感を得られること。

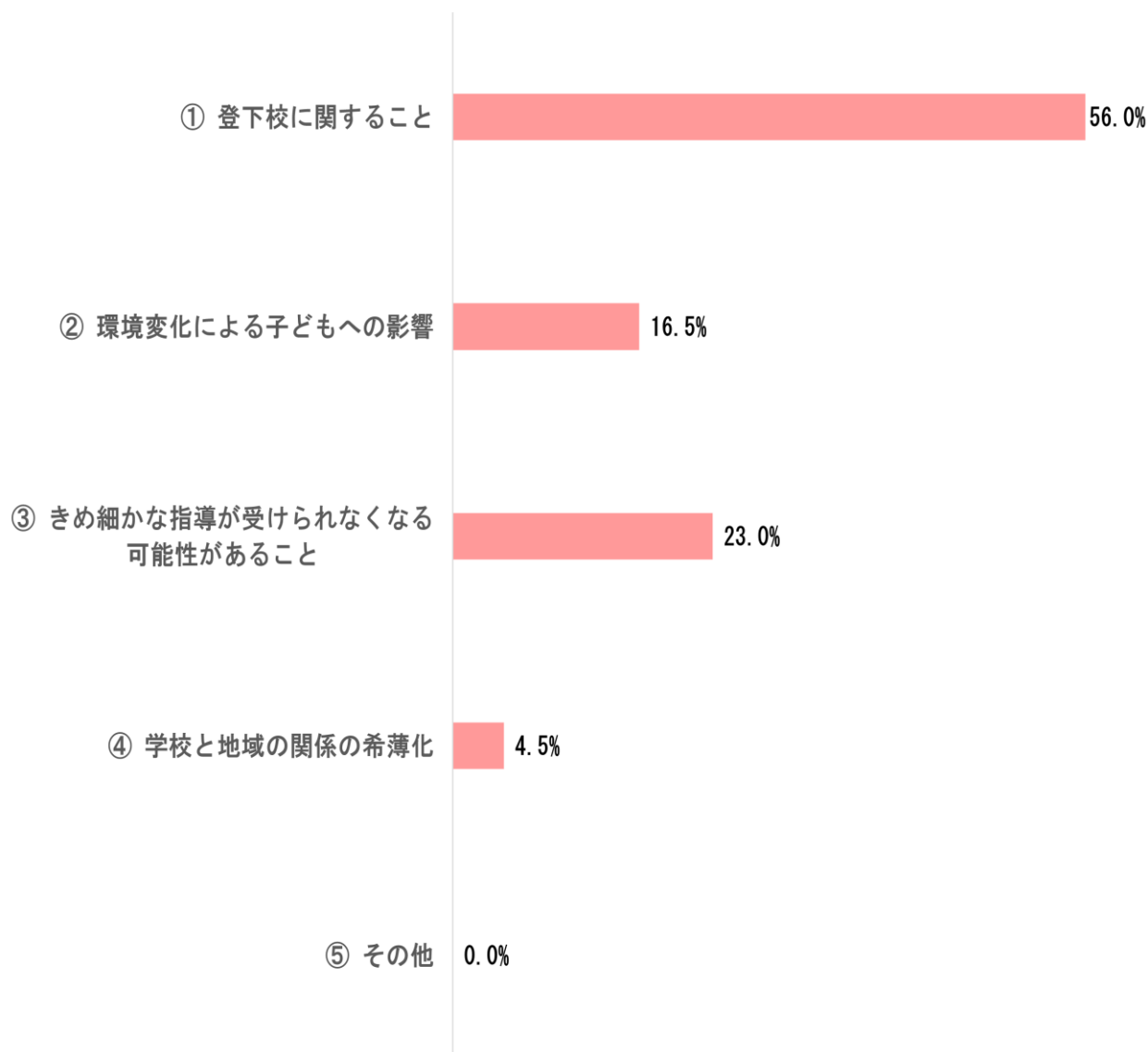
4

魅力ある学校づくりのために、学校の規模や配置を見直す場合、心配なことについて次の項目から選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

学校の規模や配置を見直す場合、通学路の変更や通学距離の延長の可能性が考えられることから、56.0%の方が「① 登下校に関すること」を心配と感じています。

保護者アンケート結果（対象 17 校の集計）と概ね同様の傾向となっています。

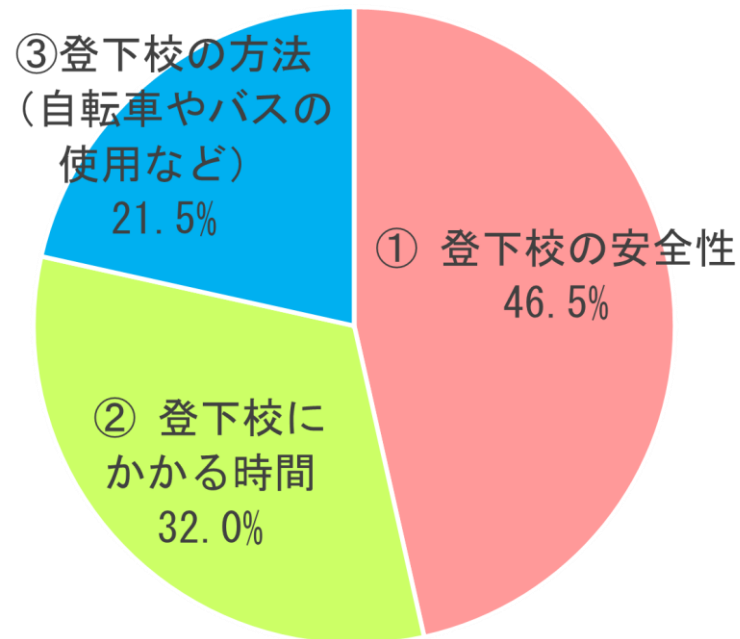


学校の規模や配置を見直す場合、登下校に関して最も重要だと思うことについて次の項目から選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

登下校に関しては、安全性を 46.5%、時間を 32.0%の方が重要と考えています。

保護者アンケート結果（対象 17 校の集計）と比較すると、③の割合が高くなっています。

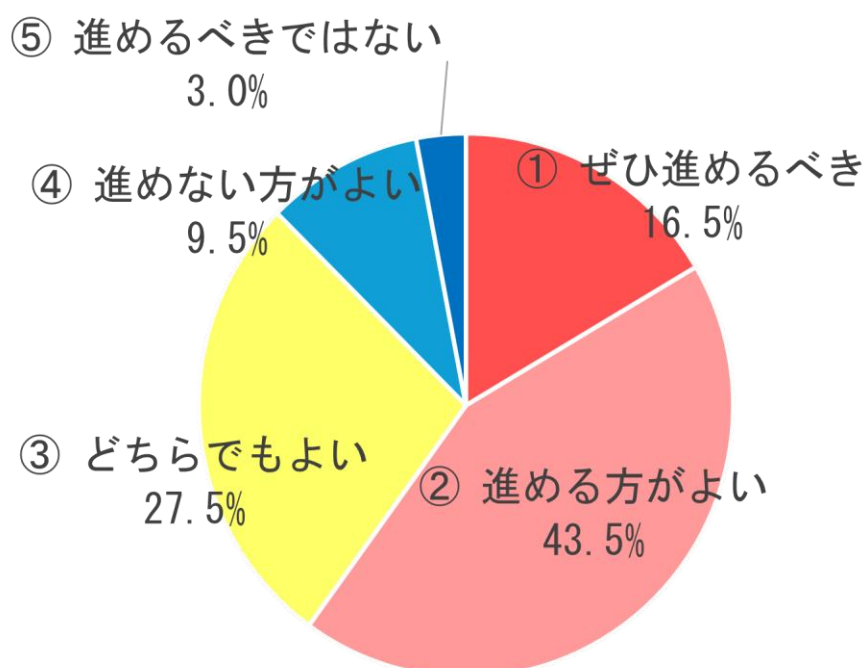


市は小中学校ともに1学年に2学級以上あることが必要と考えています。この考えに基づき、市内の小中学校が適正な規模や配置となるように取り組むことについて、どう思いますか。(1つ)

●回答結果の概要

60.0%の方が「① ぜひ進めるべき」又は「② 進める方がよい」と考えています。

選択項目①②（賛成）、③（どちらでもよい）、④⑤（反対）の割合が、アンケート対象 17 校の平均的な値（賛成 6 割、どちらでもよい 3 割、反対 1 割）に近くなっています。



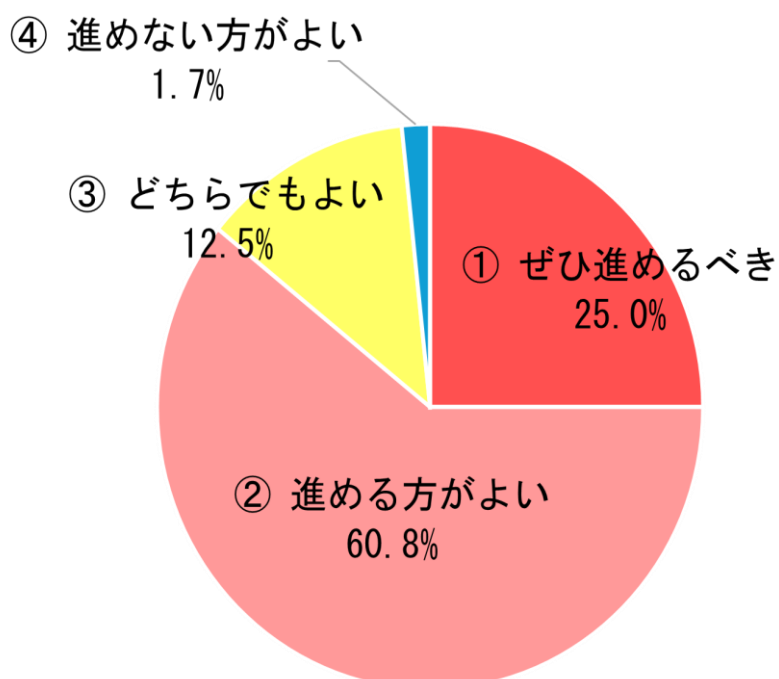
6の質問で「① ぜひ進めるべき」と「② 進める方がよい」と答えた方にお聞きします。石尾台中学校が適正な規模や配置となるように取り組むことについてどう思いますか。(1つ)

●回答結果の概要

6の質問で①又は②を選んだ方の 85.8%が「石尾台中学校においても学校の適正規模や配置について取り組むこと」に賛成しています。

「④ 進めない方がよい」と考えている方は2人で、「⑤ 進めるべきではない」を選んだ方はいません。

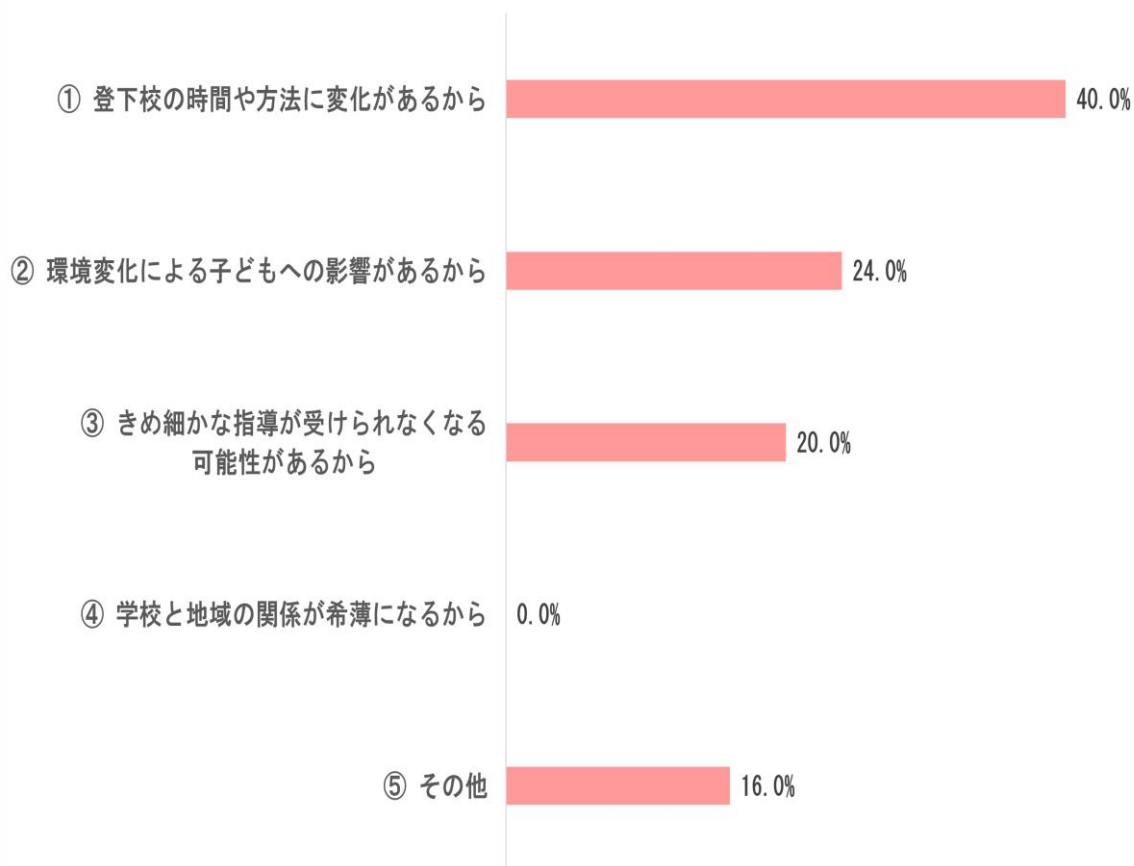
6の質問で、春日井市全体としての考え方には賛成するものの、本質問では「③ どちらでもよい」を 12.5%、「④ 進めない方がよい」を 1.7%の方が選択していることから、全体の回答者のうち、石尾台中について取り組むことに賛成する方の割合は 51.5%となります。



6の質問で「④ 進めない方がよい」と「⑤ 進めるべきではない」と答えた方にお聞きします。
その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

6の質問で④又は⑤を選んだ25人のうち、10人が「① 登下校の時間や方法に変化があるから」を選択し、最も多くなっています。



「⑤ その他」の回答

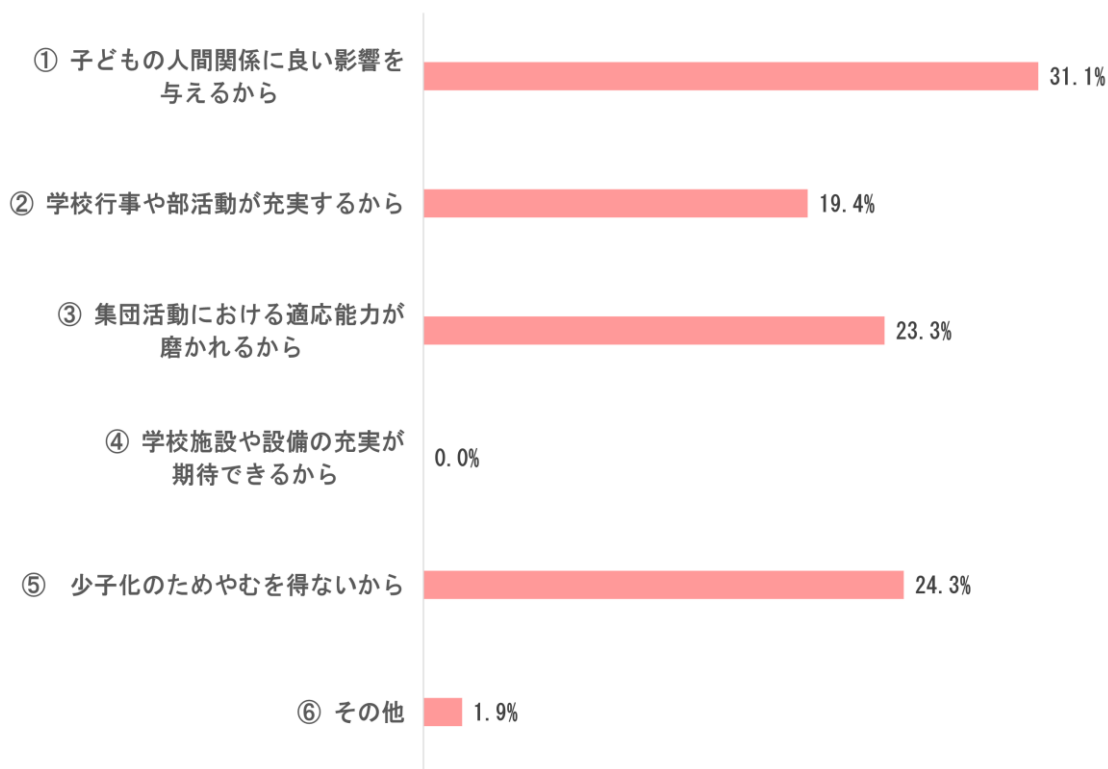
- ・学年に2学級以上あることが必要と考えています。なぜ？個人の意見ではないのか？
- ・子育てには地域の大人が参加すべきだと思うから。
- ・小さい学校ならではの良さもたくさんある。先生と生徒の距離が近かったり、クラス替えが無いことで子どもたちの団結力も強まるなど良い点もあると思うから。
- ・少子化対策を怠ってきた行政の政策を子ども達に負わせるべきではない。急激な対応は移民による人口増加。

7-1の質問で「① ぜひ進めるべき」と「② 進める方がよい」と答えた方にお聞きします。その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

選択項目の①、⑤、③の順で選ばれています。

保護者アンケート結果（対象 17 校の集計）と概ね同様の傾向となっています。



「⑥ その他」の回答

- ・玉川小学校区の子には通うのが遠すぎるから。押沢台小を無くし石尾台中にするべきだ。
- ・少ないクラスだと何か問題があった時に逃げ場所がない。

7-1の質問で「④ 進めない方がよい」と「⑤ 進めるべきではない」と答えた方にお聞きします。その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

7-1の質問で「④ 進めない方がよい」が2名で、「② 環境変化による子どもへの影響があるから」、「③ きめ細かな指導が受けられなくなる可能性があるから」と考えています。

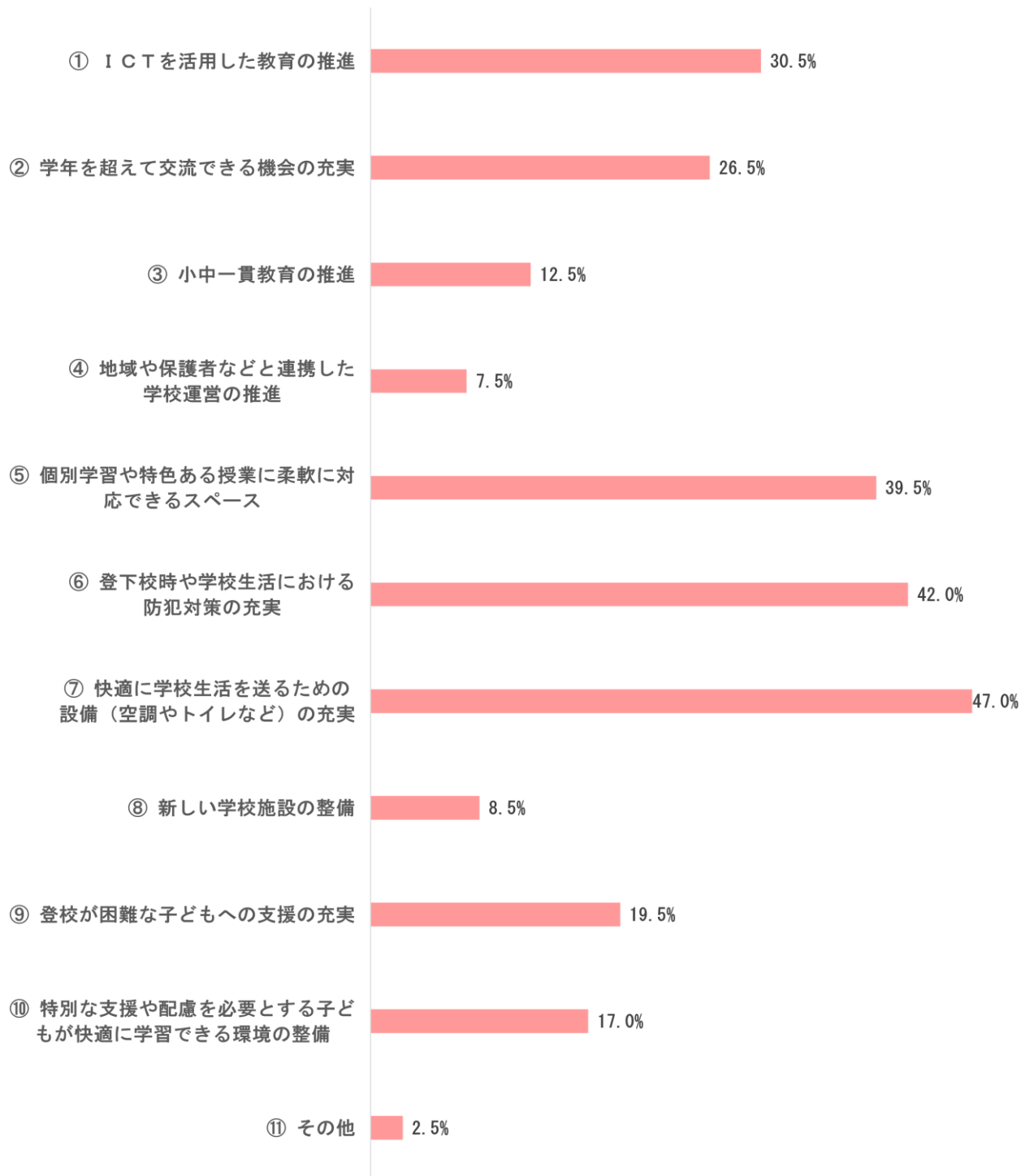
これからの学校教育や学校施設に期待することについて、次の項目から選択してください。(3つまで)

●回答結果の概要

選択項目の⑦、⑥、⑤の順で選ばれています。

回答した保護者の多くが、快適に学校生活を送るための設備の充実、登下校時や学校生活における防犯対策の充実、個別学習や特色ある授業に柔軟に対応できるスペースを期待しています。

保護者アンケート結果（対象 17 校の集計）と概ね同様の傾向となっています。



9 「⑪ その他」の回答

- ・スクールバス、家からすごく遠く坂も傾斜が急な為、雨の日の通学が困難。
- ・学力の向上。
- ・強く進学を希望とする生徒へ、勉学が充実し教師や生徒が安心して学習できるクラス分けへの配慮。
- ・最近尾張地方でニュースになった事案もあるが、重大事件やひどいじめ事案などは保護者に情報をオープンにするべきだ。春日井市だけの話でなく、被害者が泣き寝入りをする今の日本の教育現場の隠蔽体質が改善される事を強く望む。
- ・授業内容の質向上。子どもたちが将来を自分で考え、自分の意見をしっかり行って、言勉学に興味を持てる環境を作って欲しい。

アンケートの結果は以上です。

アンケートの結果をもとに、より良い教育環境の実現に向け、保護者や地域、関係者の皆様とともに議論を積み重ねていきたいと考えています。

今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



問い合わせ先

春日井市教育委員会 学校教育課

電話番号：0568-85-6149 FAX：0568-85-0991

Eメール：gakko@city.kasugai.lg.jp

保護者アンケート結果（岩成台中学校）

少子化により子どもの数が減少する中、市では、子どもたちにとってより良い教育環境を整備するため、通学区域の変更や学校の統合などにより、小中学校の適正な規模の確保に努めるように検討を進めています。

検討にあたり保護者の方を対象にアンケートを実施しましたので、集計結果をご報告します。



◆アンケート概要

実施期間	令和7年5月19日（月）から6月6日（金）まで
対象者	岩成台中学校に通っている生徒の保護者
実施手法	学校から保護者への連絡システム 「Home&School」から回答
生徒数	242人
Home&School 通知数	288人
回答数	152人
回答率	52.8%

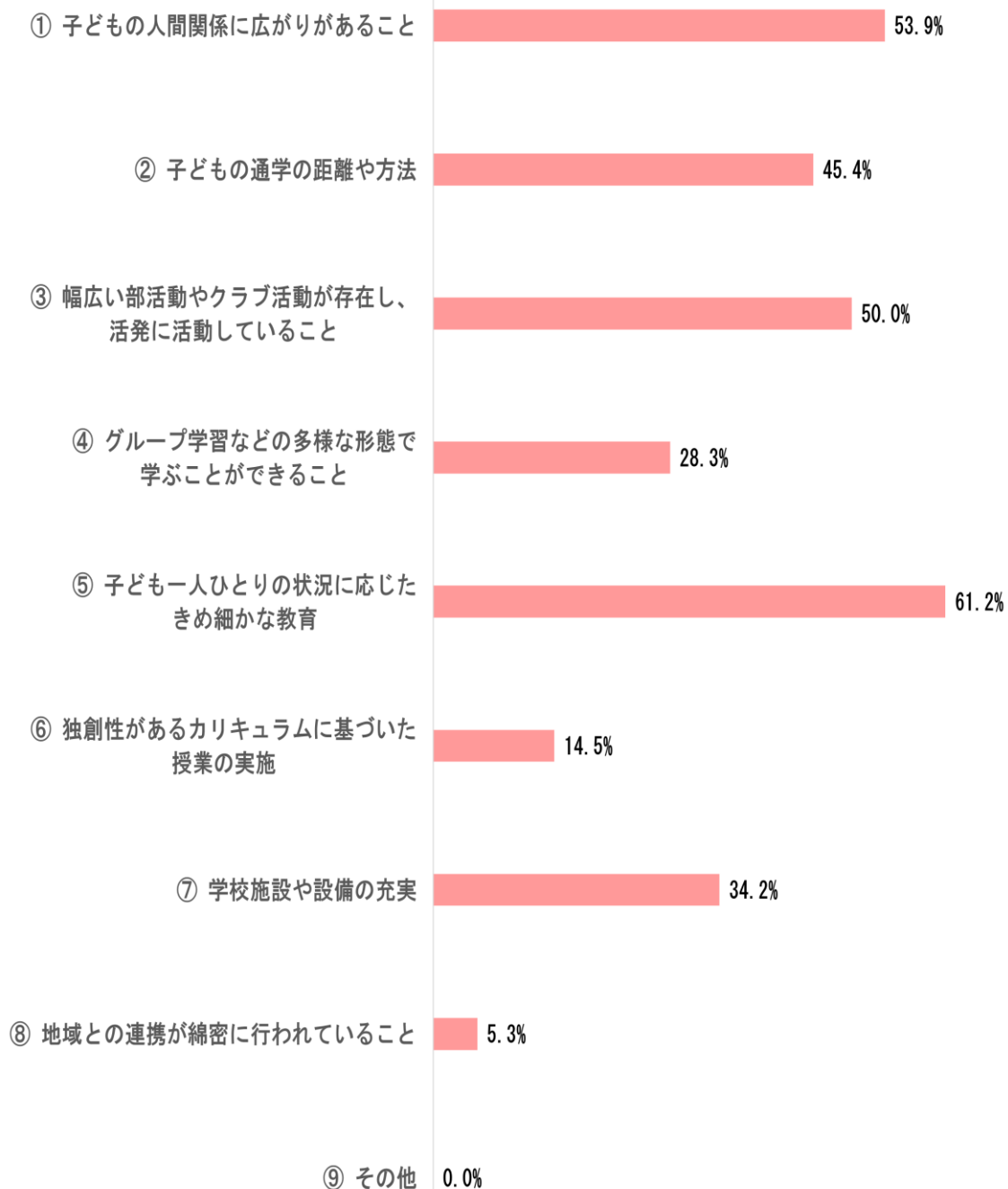
子どもたちにとって、魅力ある学校づくりを進めるために重要と思うことについて、次の項目から選択してください。(3 つまで)

●回答結果の概要

選択項目⑤、①、③の順に多く選ばれています。

回答した保護者の多くが、生徒たちに個別最適な学習が提供されること、学校生活での人間関係が充実していること、授業以外で生徒たちが活発に活動する場があることを学校に期待しています。

保護者アンケート結果（対象 17 校の集計）と比較すると、③の割合が高くなっています。



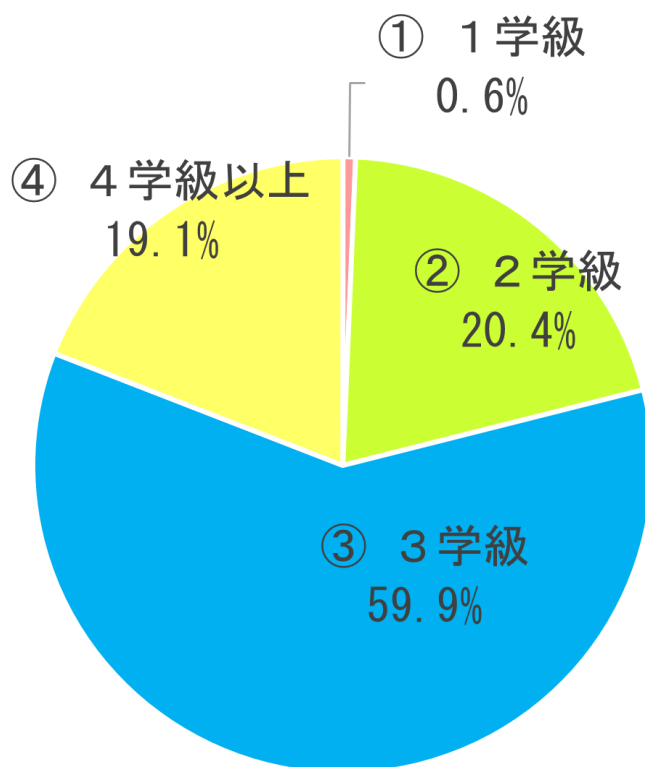
1学年当たりの学級数は何学級が望ましいと思いますか。次の項目から選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

岩成台中は現在、1年生が3学級、2年生及び3年生が2学級です。

回答した保護者の99.4%が2学級以上を望ましいと考えており、「① 1学級」を選んだ方は0.6%となっています。

保護者アンケート結果（対象17校の集計）と比較すると、③の割合が高く、②の割合が低くなっています。



各学年の学級数が多い学校の「よい」と感じるについて、次の項目から選択してください。
(3つまで)

●回答結果の概要

選択項目の②、①、⑤の順で選ばれており、回答した保護者の多くは、1学年あたりの学級数が多いことが、子どもたちの人間関係に好影響を与えるとともに、多くの同級生と関わることで社会性やコミュニケーション能力を身に付けることができると考えています。

保護者アンケート結果（対象 17 校の集計）と比較すると、④の割合が高くなっています。

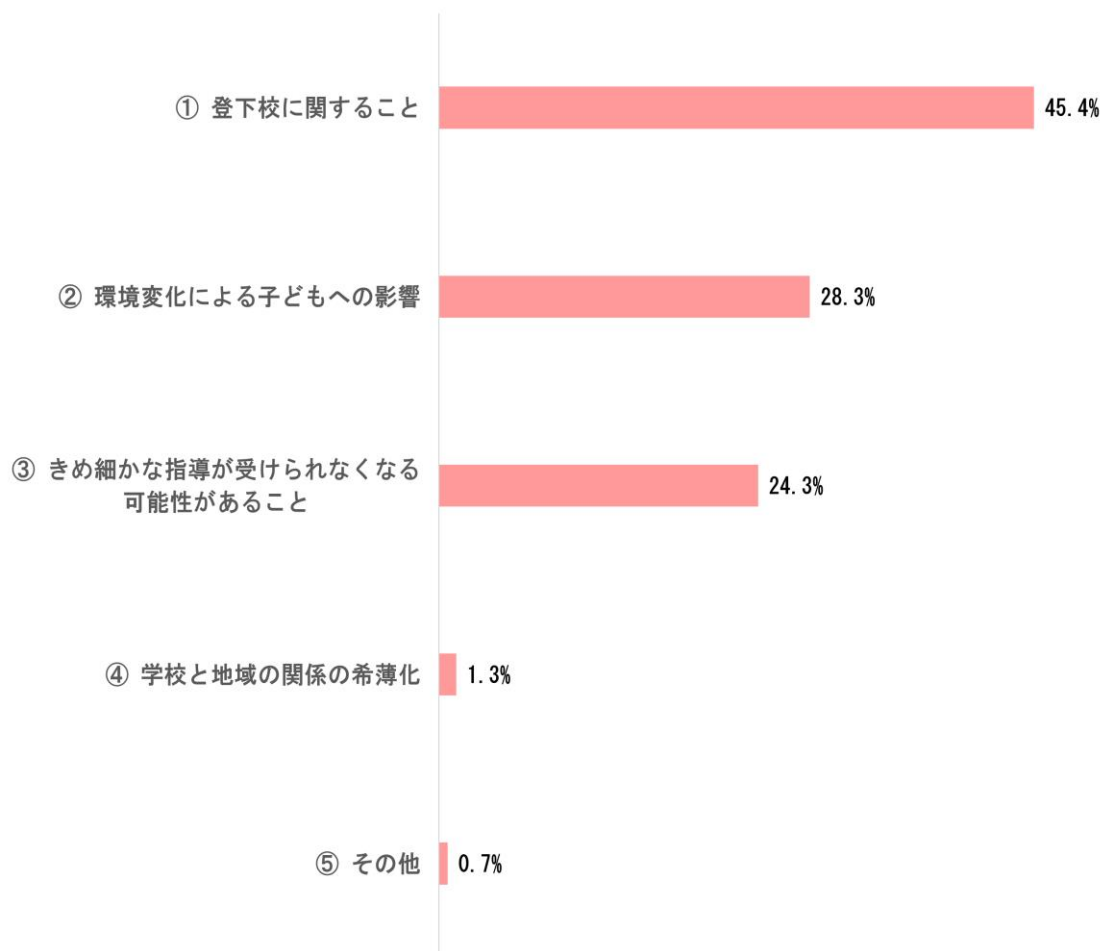


魅力ある学校づくりのために、学校の規模や配置を見直す場合、心配なことについて次の項目から選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

学校の規模や配置を見直す場合、通学路の変更や通学距離の延長の可能性が考えられることから、45.4%の方が「① 登下校に関すること」を心配と感じています。

保護者アンケート結果（対象 17 校の集計）と概ね同様の傾向となっています。



「⑤ その他」の回答

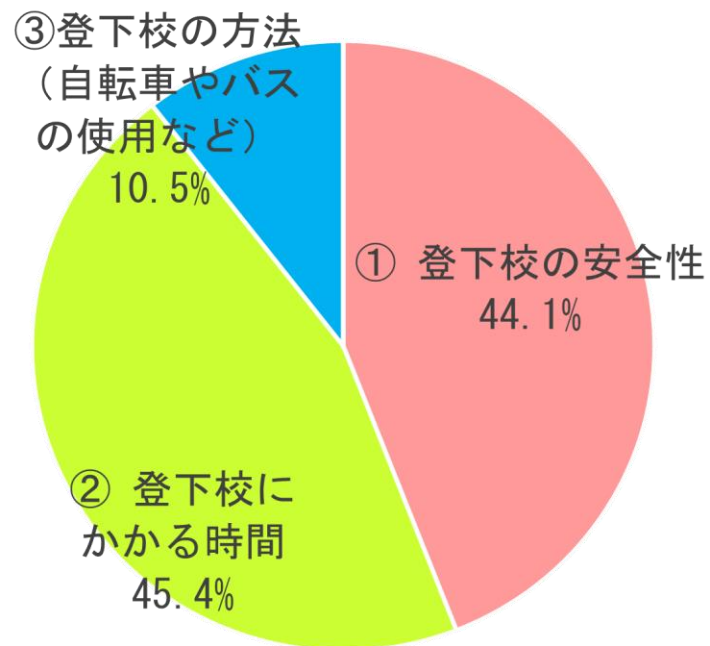
- ・ 良い意味での人間関係の広がりとは逆のことも起こり得ることが心配。

学校の規模や配置を見直す場合、登下校に関して最も重要だと思うことについて次の項目から選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

登下校に関しては、時間を 45.4%、安全性を 44.1%の方が重要と考えています。

保護者アンケート結果（対象 17 校の集計）と比較すると、②の割合が高くなっています。

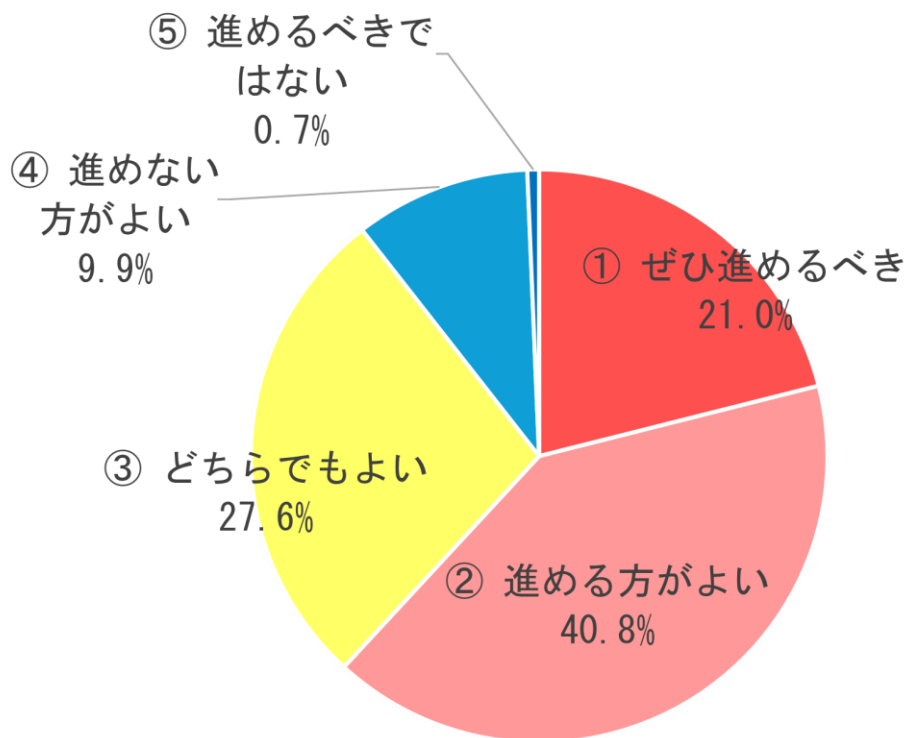


市は小中学校ともに1学年に2学級以上あることが必要と考えています。この考えに基づき、市内の小中学校が適正な規模や配置となるように取り組むことについて、どう思いますか。(1つ)

●回答結果の概要

61.8%の方が「① ぜひ進めるべき」又は「② 進める方がよい」と考えています。

岩成台中は、①②（賛成）、③（どちらでもよい）、④⑤（反対）の割合が、アンケート対象 17 校の平均的な値（賛成 6 割、どちらでもよい 3 割、反対 1 割）に近くなっています。



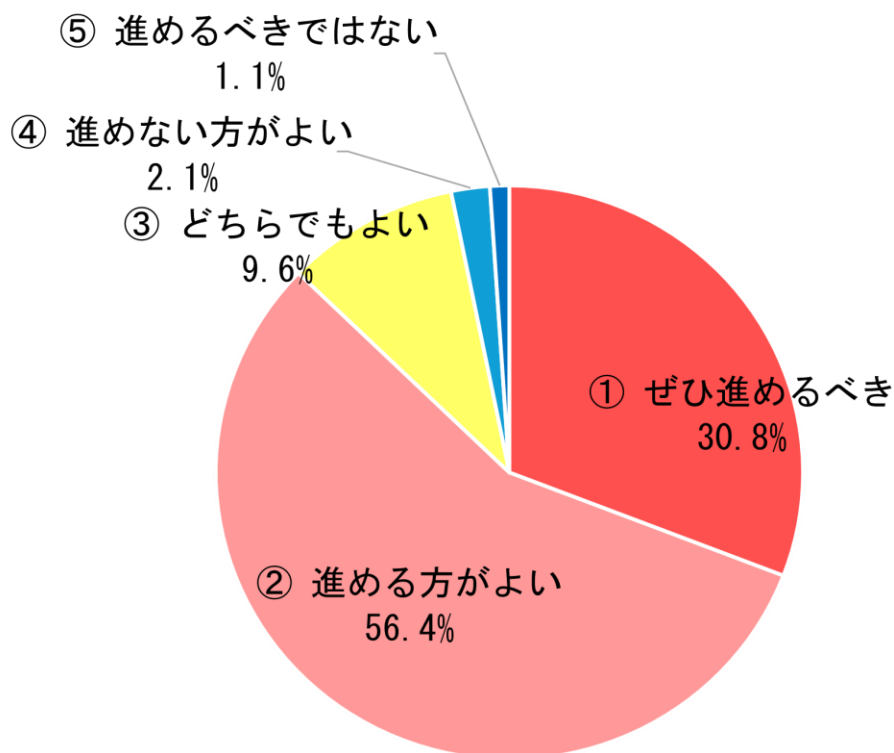
6の質問で「① ぜひ進めるべき」と「② 進める方がよい」と答えた方にお聞きします。岩成台中学校が適正な規模や配置となるように取り組むことについてどう思いますか。(1つ)

●回答結果の概要

6の質問で①又は②を選んだ方の 87.2%は「岩成台中においても学校の適正規模や配置について取り組むこと」に賛成しています。

「④ 進めない方がよい」と考えている方は2人、「⑤ 進めるべきではない」と考えている方は1人です。

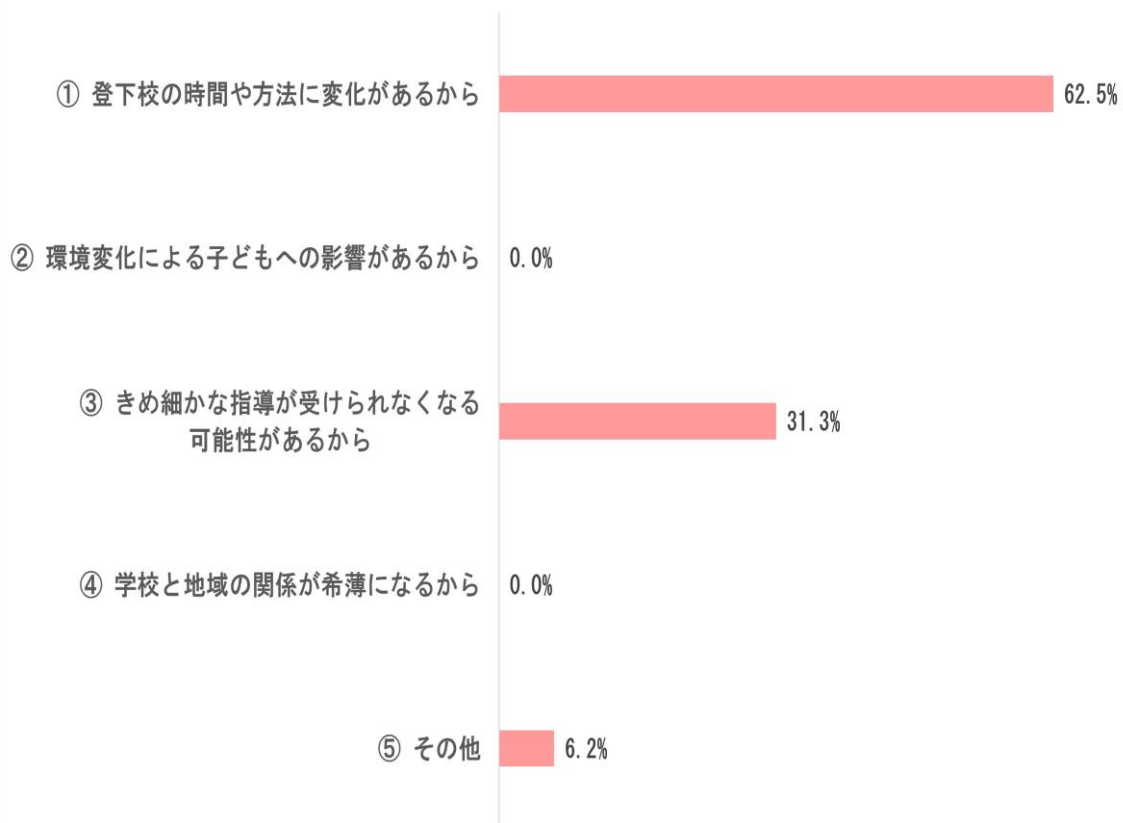
6の質問で、春日井市全体の考え方には賛成するものの、本質問では、「③ どちらでもよい」を9.6%、「④ 進めない方がよい」を2.1%、「⑤ 進めるべきではない」を1.1%の方が選択していることから、全体の回答者のうち、岩成台中が対象となることに賛成する方は53.9%となります。



6の質問で「④ 進めない方がよい」と「⑤ 進めるべきではない」と答えた方にお聞きします。
その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

6の質問で④又は⑤を選んだ16人のうち10人が「① 登下校の時間や方法に変化があるから」を選択し、最も多くなっています。



「⑤ その他」の回答

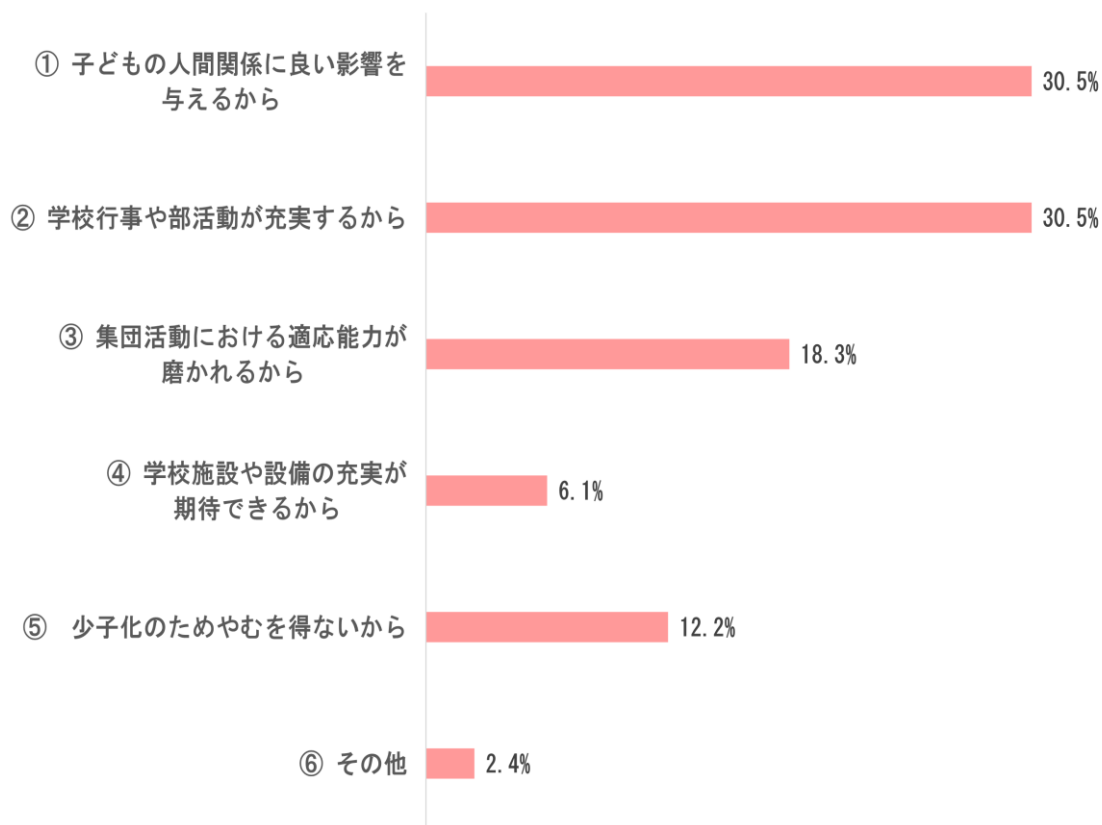
- ・少子化がさらに進んだ場合に、さらなる学校の統廃合を進めることは困難であるため、小規模学校の良さを見出して運営してほしい。

7-1の質問で「① ぜひ進めるべき」と「② 進める方がよい」と答えた方にお聞きします。その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

選択項目①、②（同値）、③の順で選ばれています。

保護者アンケート結果（対象 17 校の集計）と比較すると、②の割合が高くなっています。



「⑥ その他」の回答

- ・一つの理由というよりは総合的に見て進める方がよいと判断しました。
- ・集団が大きい方が切磋琢磨できるから。75 人中の 20 番と 120 人中の 20 番の違いを子どもがわかっていない。

7-1の質問で「④ 進めない方がよい」と「⑤ 進めるべきではない」と答えた方にお聞きします。その理由として最も当てはまるものを選択してください。(1つ)

●回答結果の概要

7-1の質問で「④ 進めない方がよい」を選んだ方が2名、「⑤ 進めるべきではない」が1名で、その理由として「① 登下校の時間や方法に変化があるから」は1名、「③ きめ細かな指導が受けられなくなる可能性があるから」は2名の方が選んでいます。

これからの学校教育や学校施設に期待することについて、次の項目から選択してください。(3つまで)

●回答結果の概要

選択項目の⑦、⑤、①の順で選ばれています。

回答した保護者の多くが、快適に学校生活を送るため設備の充実、個別学習や特色ある授業に柔軟に対応できるスペース、ICTを活用した教育の推進を期待しています。

保護者アンケート結果（対象17校の集計）と比較すると、⑤の割合が高くなっており、⑥の割合が低くなっています。



9 「⑪ その他」の回答

- ・政治経済についての授業（無関心から投票に行かない、無知からお金で失敗するなどの問題に対して学校での教育を取り入れて欲しい）。

アンケートの結果は以上です。

アンケートの結果をもとに、より良い教育環境の実現に向け、保護者や地域、関係者の皆様とともに議論を積み重ねていきたいと考えています。

今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



問い合わせ先

春日井市教育委員会 学校教育課

電話番号：0568-85-6149 FAX：0568-85-0991

Eメール：gakko@city.kasugai.lg.jp